

本調査結果は、総務省の令和2年度「無線LANのセキュリティ確保に関するガイドラインの策定検討等に関する調査研究の請負」事業（受託者：株式会社情報通信総合研究所）により作成したものを、総務省で一部加工の上、公表するものです。

本資料に関する問合せ先等は次のページを確認願います。

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/cybersecurity/wi-fi/](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/wi-fi/)

# 無線LAN利用者に対するアンケート調査

## 集計資料

令和3年3月

株式会社情報通信総合研究所

# ■ 標本設計

楽天インサイト  
調査モニタ  
(約220万人)

**プレ調査**  
(スクリーニング調査)

15歳～79歳の  
モニタを  
自然抽出  
(約3万ss)

## 本調査

“Wi-Fiユーザ”を性×年代で割り付け  
(モバイル端末によるインターネットユーザ数の比率に基づく)

1000ss	男性	女性	合計
15歳～19歳	33	35	68
20歳～29歳	79	76	155
30歳～39歳	86	87	173
40歳～49歳	107	108	215
50歳～59歳	90	94	184
60歳～79歳	105	100	205
<b>合計</b>	<b>500</b>	<b>500</b>	<b>1000</b>

# ■プレ調査（スクリーニング調査）

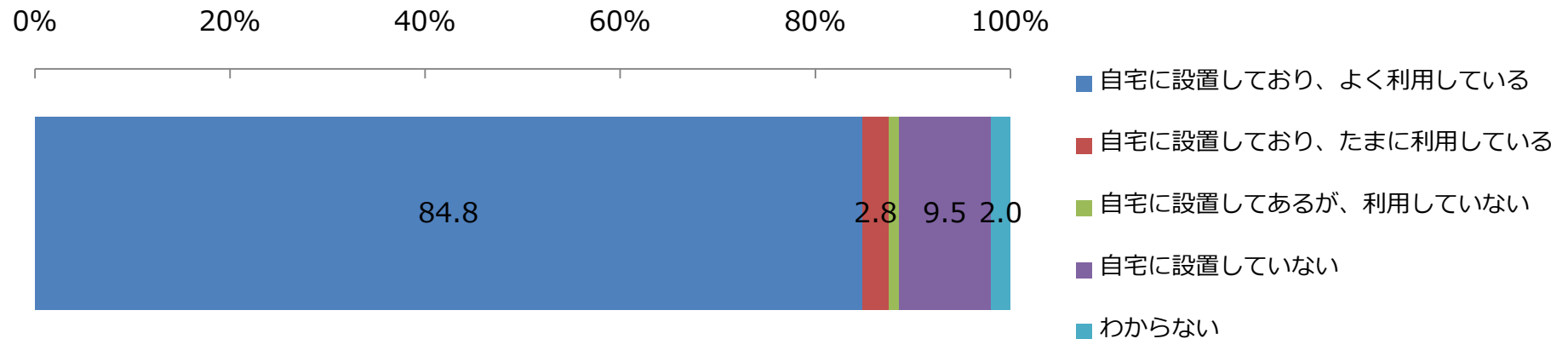
## □自宅Wi-Fi利用

- 自宅で無線LANを設置している人は約89%にのぼり、そのほとんどが、よく利用している。

SC5.無線LAN（Wi-Fi）を自宅で利用していますか。

SA

	n	%
全体	30000	100.0
1 自宅に設置しており、よく利用している	25444	84.8
2 自宅に設置しており、たまに利用している	831	2.8
3 自宅に設置してあるが、利用していない	293	1.0
4 自宅に設置していない	2846	9.5
5 わからない	586	2.0



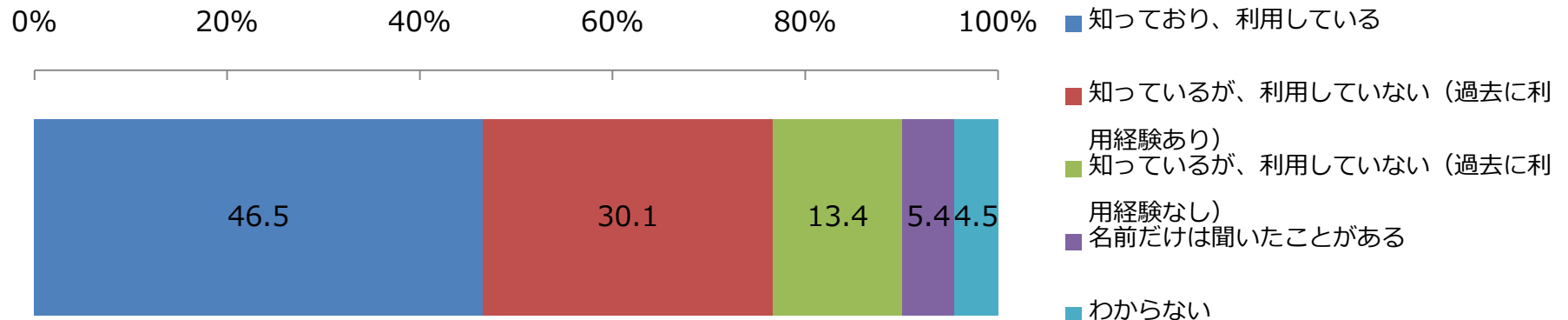
## □公衆Wi-Fi利用

- 公衆無線LANの認知は高く、約96%の人が知っているが、実際に利用している人は、その半分程度に留まっている。
- 過去に利用経験がありながら、現在は利用していない人が約3割と多い点に特徴がある。

SC6.飲食店、駅、空港、観光スポット、ホテル、公共施設などの外出先で、無線LANを利用するためのサービスである「公衆無線LANサービス（Wi-Fiスポット、フリーWi-Fiなどともいう場合もあります。有料・無料を問いません。）」を知っていますか。

SA

	n	%
全体	30000	100.0
1 知っており、利用している	13956	46.5
2 知っているが、利用していない（過去に利用経験あり）	9040	30.1
3 知っているが、利用していない（過去に利用経験なし）	4029	13.4
4 名前だけは聞いたことがある	1623	5.4
5 わからない	1352	4.5



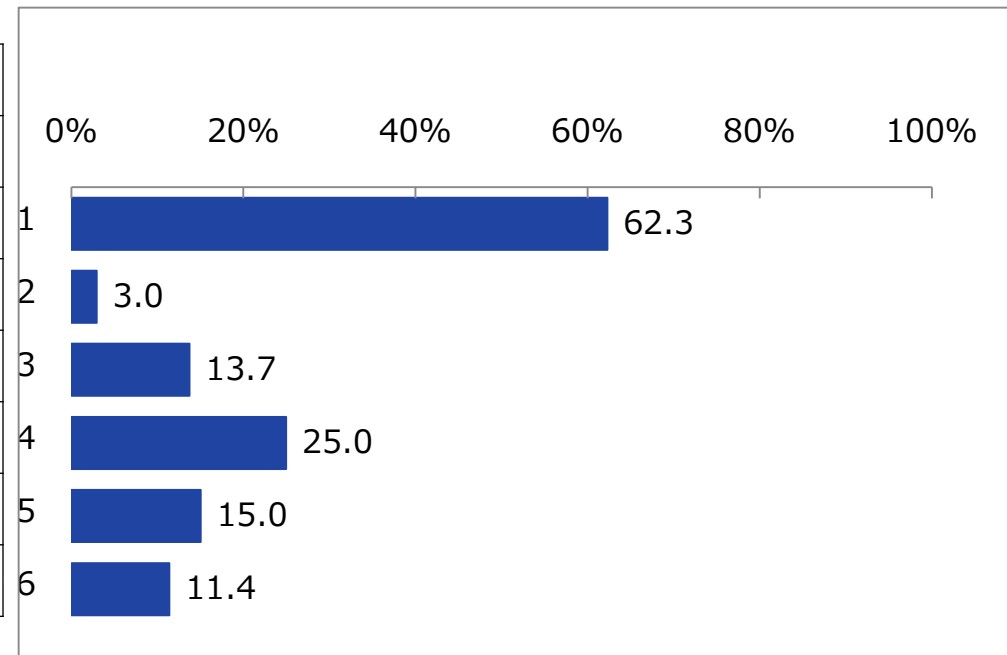
## □公衆Wi-Fi非利用理由

- 公衆無線LANを知っていながら利用していない人の理由で最も多いものが「セキュリティ上の不安」（約62%）。
- 「携帯電話回線があれば十分」（約25%）など、他の理由を大きく引き離している。

SC7.公衆無線LANサービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	13069	100.0
1 セキュリティ上の不安があるから	8141	62.3
2 金銭的余裕がないから	386	3.0
3 インターネットをそれほど利用しないから	1794	13.7
4 携帯電話回線があれば十分だから	3262	25.0
5 公衆無線LANサービスの提供範囲が狭いから	1965	15.0
6 どうやって利用していいかわからないから	1489	11.4



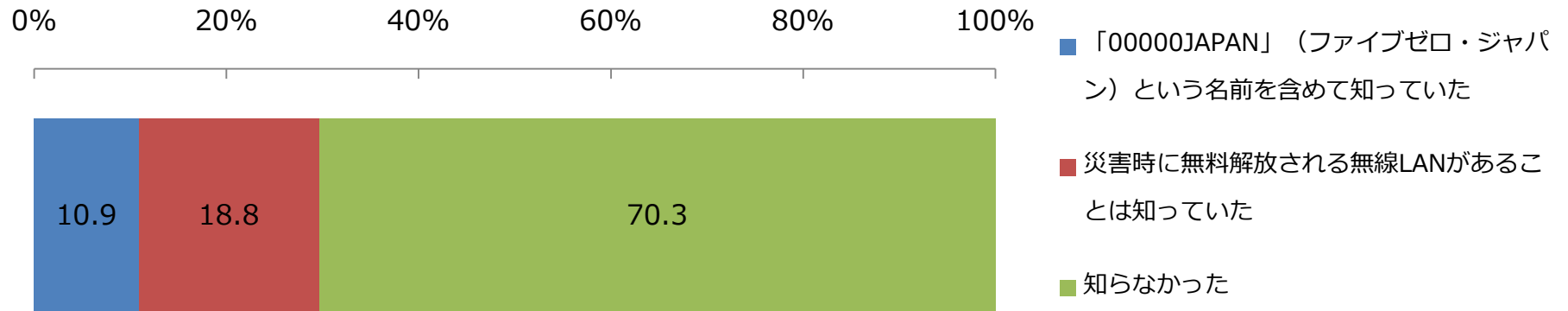
## □00000JAPAN認知

- 00000JAPANの認知度は低い。
- 災害時に無料開放される無線LANがあることは知っていた人は3割近くいるが、00000JAPANという名称を含めて知っていた人は約1割に留まる。

SC8.災害時に被災地域の人々のために無料開放される公衆無線LANである「00000JAPAN」（ファイブゼロ・ジャパン）をご存じですか。

SA

	n	%
全体	30000	100.0
1 「00000JAPAN」（ファイブゼロ・ジャパン）という名前を含めて知っていた	3260	10.9
2 災害時に無料解放される無線LANがあることは知っていた	5643	18.8
3 知らなかった	21097	70.3



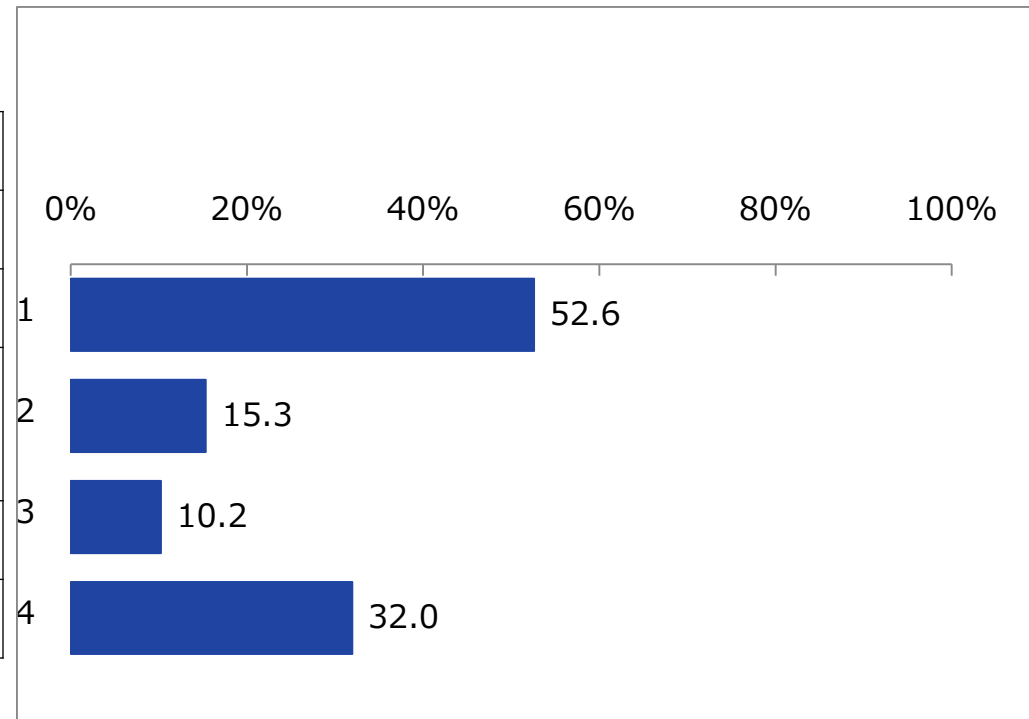
## □勤務先Wi-Fi環境

- 勤務先に無線LANが設置されている人は多い。
- 会社員・公務員の半分以上が、勤務先で業務用無線LANが提供されており、プライベート利用が可能な無線LANが提供されているケースも約15%ある。

SC9.あなたの勤務先では、無線LANは提供されていますか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	14732	100.0
1 業務用のものが提供されている	7745	52.6
2 従業員・職員がプライベート利用できるものが提供されている	2259	15.3
3 来訪者向けのものが提供されている	1506	10.2
4 わからない	4708	32.0





## □Wi-Fiリスク認知

- 無線LANにセキュリティ上のリスクがあることは比較的広く知られており、7割以上の方が認知している。
- ただし、どのようなリスクがあるか、まで知っている人は約2割に留まっている。

SC10.無線LANを利用する際に、設定や利用方法に注意しておかないと、セキュリティ上のリスク（課題）があることを知っていますか。

SA

	n	%
全体	30000	100.0
1 どのようなリスク（課題）があるか知っている	6722	22.4
2 詳しくは知らないが、リスク（課題）があることを知っている	14811	49.4
3 知らない／わからない	8467	28.2



# ■本調査：自宅Wi-Fi利用者

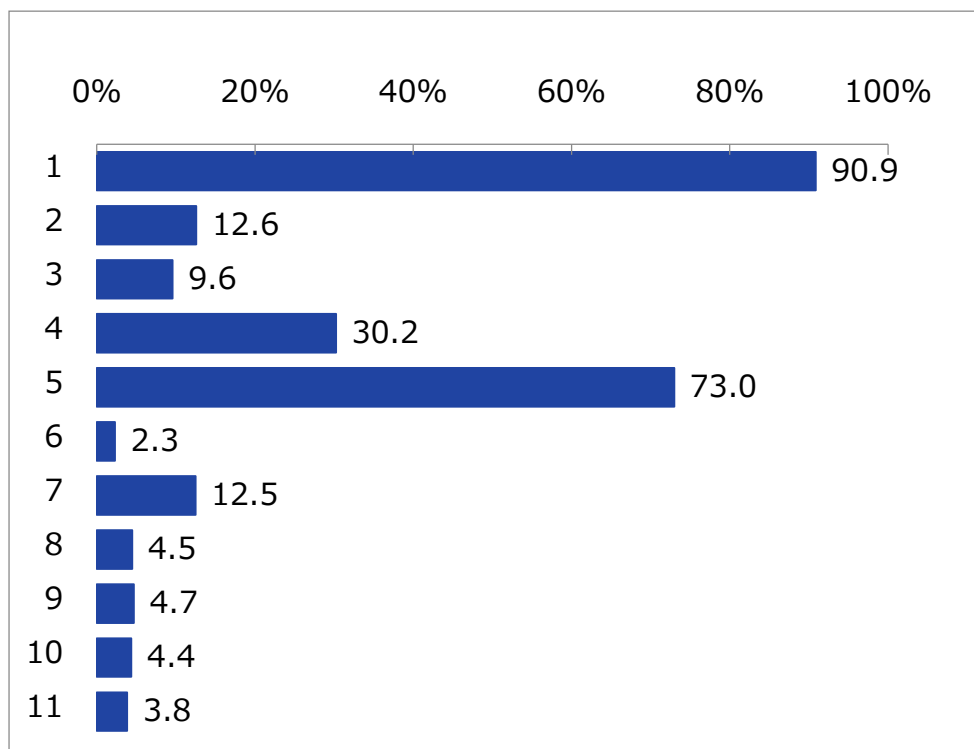
## □自宅Wi-Fi利用時の端末

- 自宅で無線LANを利用する人のほとんど（約91%）がスマートフォン（携帯電話契約あり）を利用しており、次いでパソコン利用者（約73%）が多い。

Q1.自宅の無線LANで利用している端末（家族がいる場合は、主に御自身で使用される端末）をお答えください。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	962	100.0
1スマートフォン（携帯電話契約あり）	874	90.9
2スマートフォン（携帯電話契約なし）	121	12.6
3タブレット端末（携帯電話契約あり）	92	9.6
4タブレット端末（携帯電話契約なし）	291	30.2
5パソコン	702	73.0
6従来の携帯電話（ガラケー）	22	2.3
7携帯型ゲーム機	120	12.5
8電子書籍端末	43	4.5
9デジタルオーディオプレイヤー	45	4.7
10デジタルカメラ	42	4.4
11その他：	37	3.8



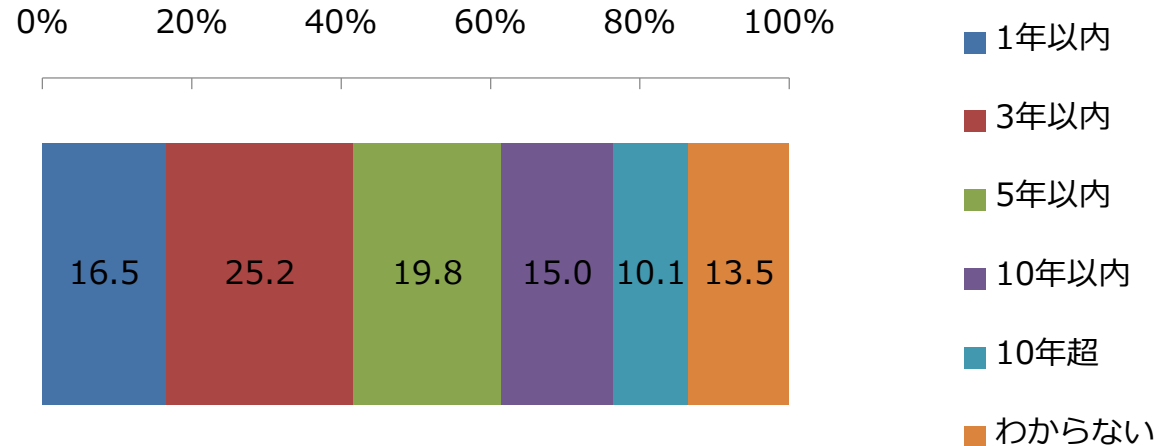
## □自宅Wi-Fiルータ購入時期

- 自宅の無線LANアクセスポイントを3年以内に購入した人は42%に留まっている。
- 3年以上経過した古い機器を使用している人は45%を超え、さらには購入時期を把握していない人も約14%いる。

Q2.自宅の無線LANについて、そのアクセスポイント（親機）は何年前に購入しましたか。複数台ある場合は最も古い機器についてお答えください。

SA

	n	%
全体	962	100.0
1 1年以内	159	16.5
2 3年以内	242	25.2
3 5年以内	190	19.8
4 10年以内	144	15.0
5 10年超	97	10.1
6 わからない	130	13.5



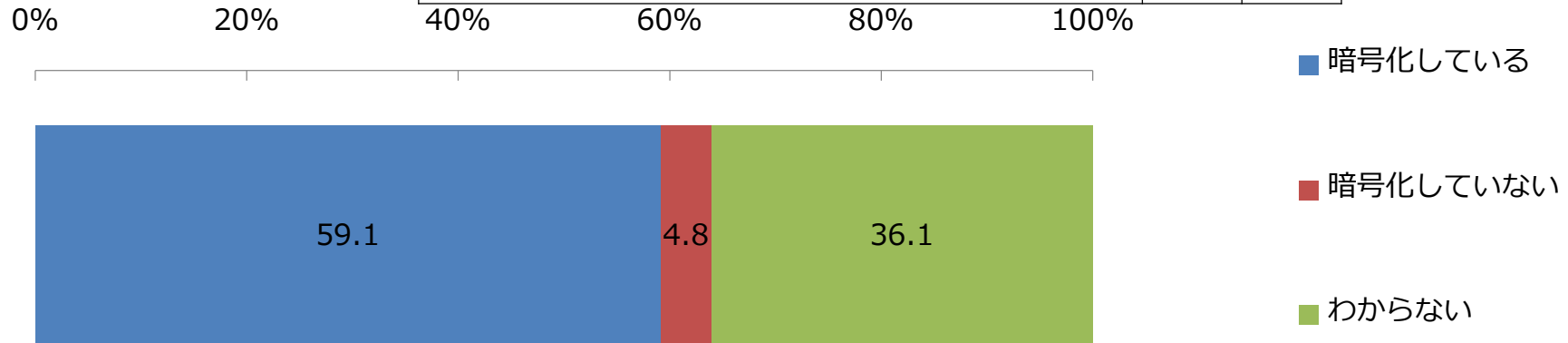
## □自宅Wi-Fiの暗号化

- 自宅の無線LANについて、無線の暗号化を行っている人が約6割。
- 暗号化をしていない人は非常に少ない（約5%）が、わからない人が4割近くいる。

Q3.自宅の無線LANでは、無線の暗号化（WEP/WPA等）をしていますか。複数ある場合は最も利用しているものについてお答えください。

SA

	n	%
全体	962	100.0
1 暗号化している	569	59.1
2 暗号化していない	46	4.8
3 わからない	347	36.1



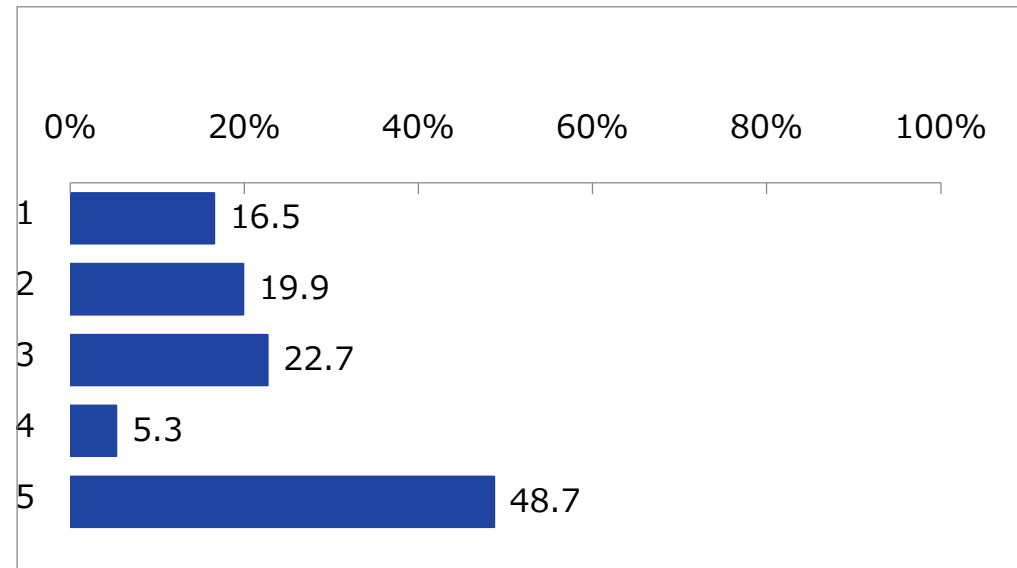
## □自宅Wi-Fiのセキュリティ方式

- 自宅の無線LANについて、無線の暗号化を行っている人のうち、WPA2を利用している人は約23%、WPA3は約5%に留まる。
- 脆弱性が指摘されているWPA利用者が約20%、WEPが約17%、セキュリティ方式が分からない人が約半数いる。

Q4.自宅の無線LANの暗号化には、どのようなセキュリティ方式を用いていますか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	569	100.0
1 WEP	94	16.5
2 WPA	113	19.9
3 WPA2	129	22.7
4 WPA3	30	5.3
5 わからない	277	48.7



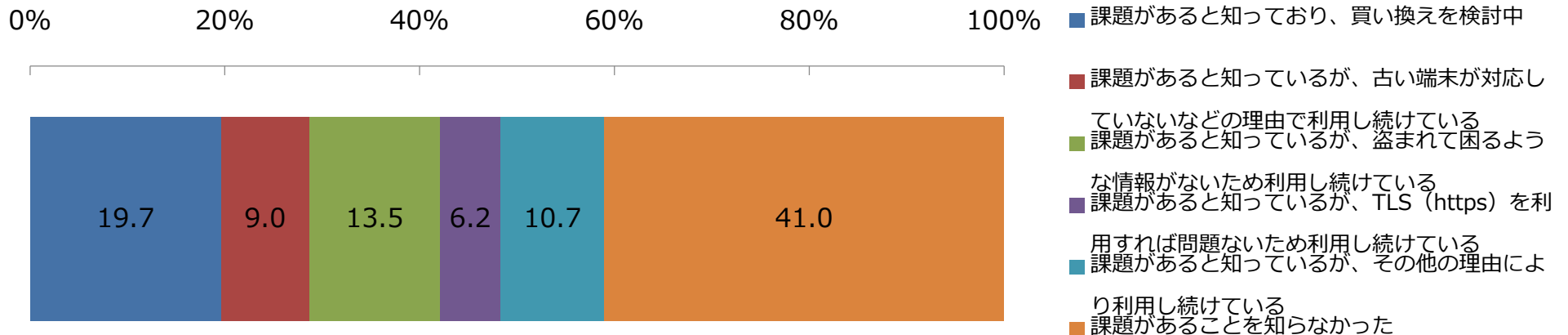
## □自宅Wi-Fiで脆弱な暗号を利用する理由

- 自宅の無線LANについて、WEP/WPAを利用している人のうち、約6割はセキュリティ上の課題を認識したうえで利用しており、約2割は買い替えを検討中。
- 約4割はセキュリティ上の課題を認識していない。

Q5.暗号化のうちWEPやWPAについては、セキュリティ上の課題（暗号化した通信内容を解読されるおそれ）があることから、一般的に使用は推奨されていません。使用している状況についてお答えください。

SA

	n	%
全体	178	100.0
1課題があると知っており、買い替えを検討中	35	19.7
2課題があると知っているが、古い端末が対応していないなどの理由で利用し続けている	16	9.0
3課題があると知っているが、盗まれて困るような情報がないため利用し続けている	24	13.5
4課題があると知っているが、TLS (https) を利用すれば問題ないため利用し続けている	11	6.2
5課題があると知っているが、その他の理由により利用し続けている	19	10.7
6課題があることを知らなかった	73	41.0



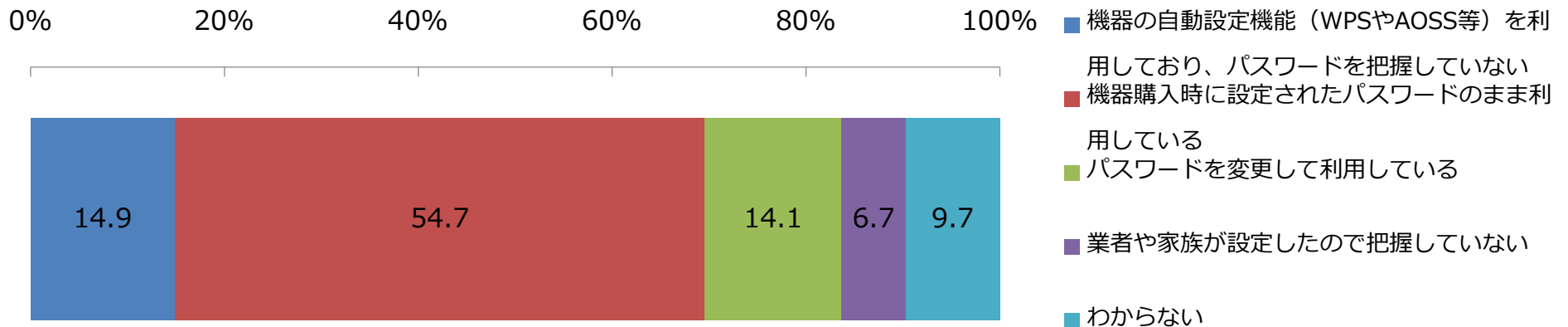
## □自宅Wi-Fiの暗号化パスワード

- 自宅の無線LANの暗号化パスワードは、機器購入時のデフォルト設定のまま利用し続けている人が過半であり、パスワードを変更して利用している人は約14%に過ぎない。

Q6.自宅の無線LANの暗号化に用いているパスワード（パスフレーズ）はどのように設定していますか。

SA

	n	%
全体	569	100.0
1 機器の自動設定機能（WPSやAOSS等）を利用しており、パスワードを把握していない	85	14.9
2 機器購入時に設定されたパスワードのまま利用している	311	54.7
3 パスワードを変更して利用している	80	14.1
4 業者や家族が設定したので把握していない	38	6.7
5 わからない	55	9.7

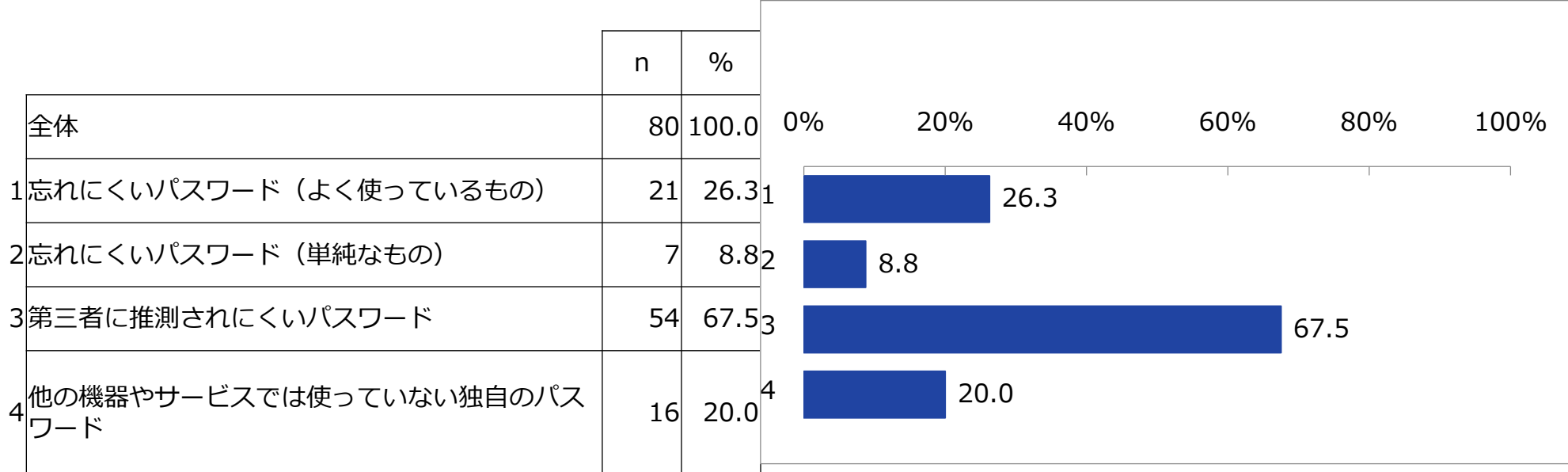


## □自宅Wi-Fiの暗号化パスワード設定の留意点

- 自宅の無線LANの暗号化パスワードを変更して利用している人の約68%が「第三者に推測されにくいパスワード」を用いている。

Q7.自宅の無線LANの暗号化に用いているパスワード（パスフレーズ）を変更する際に留意している点は何ですか。（いくつでも）

MA





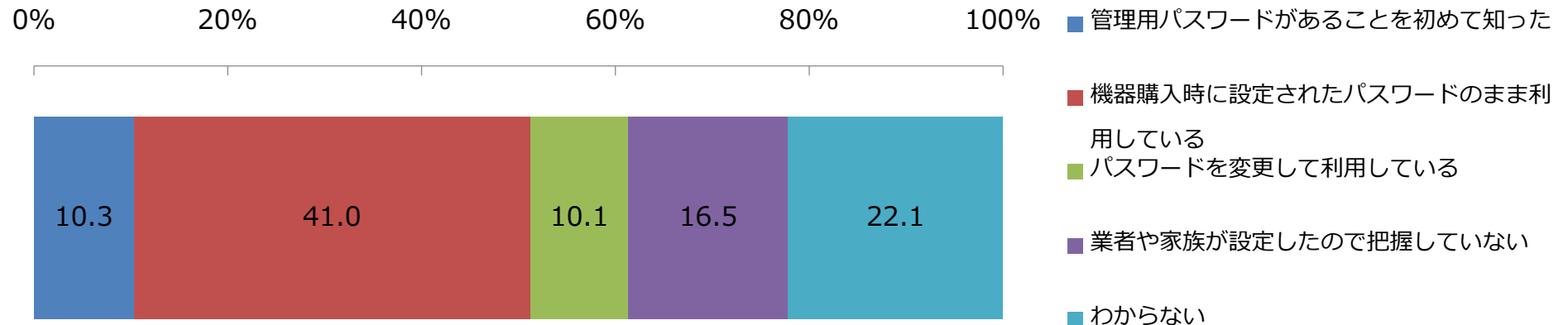
## □自宅Wi-Fiルータ管理用パスワード設定

- 自宅の無線LANの親機の管理・設定のためのパスワードを初期値から変更している人は約1割に過ぎず、大半の人は初期値のまま利用し続けているか、認識していないか、である。

Q8.自宅の無線LANについて、そのアクセスポイント（親機）の設定を管理・変更する際には管理用パスワードが必要となります。これをどのように設定していますか。

SA

	n	%
全体	962	100.0
1 管理用パスワードがあることを初めて知った	99	10.3
2 機器購入時に設定されたパスワードのまま利用している	394	41.0
3 パスワードを変更して利用している	97	10.1
4 業者や家族が設定したので把握していない	159	16.5
5 わからない	213	22.1



## □自宅Wi-Fiルータ管理用パスワード設定の留意点

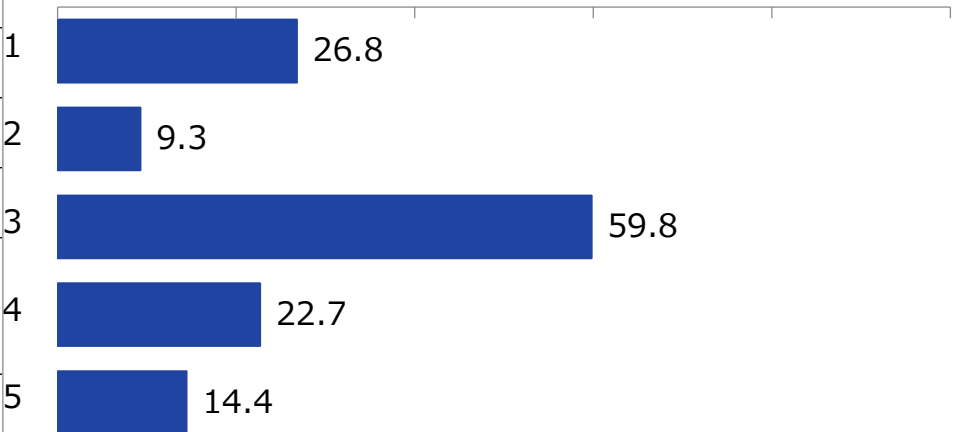
- 自宅の無線LANの管理用パスワードを変更して利用している人の約6割が「第三者に推測されにくいパスワード」を用いている。

Q9.自宅の無線LANの管理用パスワードは何に留意して設定していますか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	97	100.0
1 忘れにくいパスワード（よく使っているもの）	26	26.8
2 忘れにくいパスワード（単純なもの）	9	9.3
3 第三者に推測されにくいパスワード	58	59.8
4 他の機器やサービスでは使っていない独自のパスワード	22	22.7
5 無線LANの暗号化用のパスワードとは別のパスワード	14	14.4

0% 20% 40% 60% 80% 100%



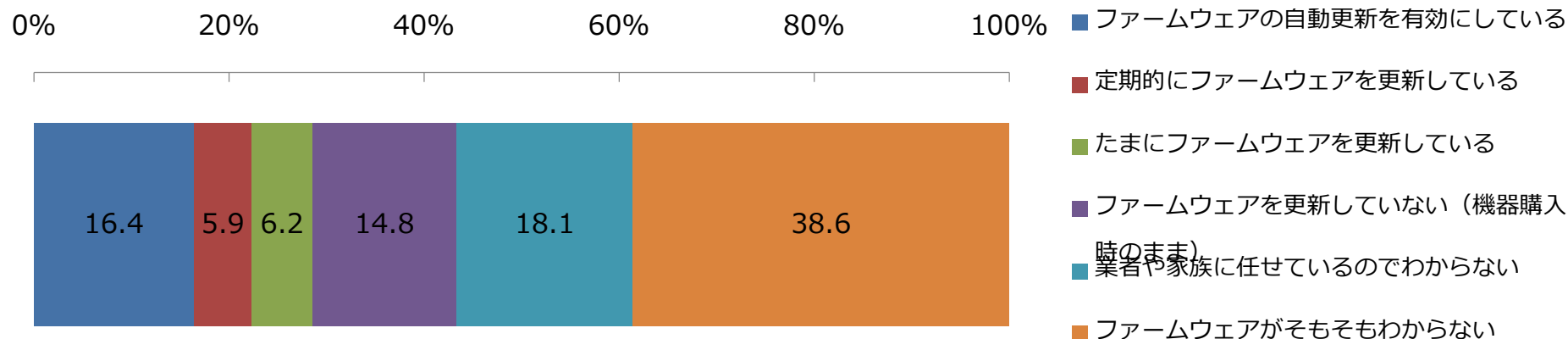
## □自宅Wi-Fiルータファームウェアアップデート

- 約3割の人が、自宅の無線LANの親機のファームウェアを自動または手動により更新している。
- 業者や家族に任せているのでわからない人が約18%いるのに加え、ファームウェアがそもそもわからない人が約4割に達する。

Q10.自宅の無線LANについて、そのアクセスポイント（親機）のファームウェア（ソフトウェア）のアップデートを実施していますか。

SA

	n	%
全体	962	100.0
1 ファームウェアの自動更新を有効にしている	158	16.4
2 定期的にファームウェアを更新している	57	5.9
3 たまにファームウェアを更新している	60	6.2
4 ファームウェアを更新していない（機器購入時のまま）	142	14.8
5 業者や家族に任せているのでわからない	174	18.1
6 ファームウェアがそもそもわからない	371	38.6

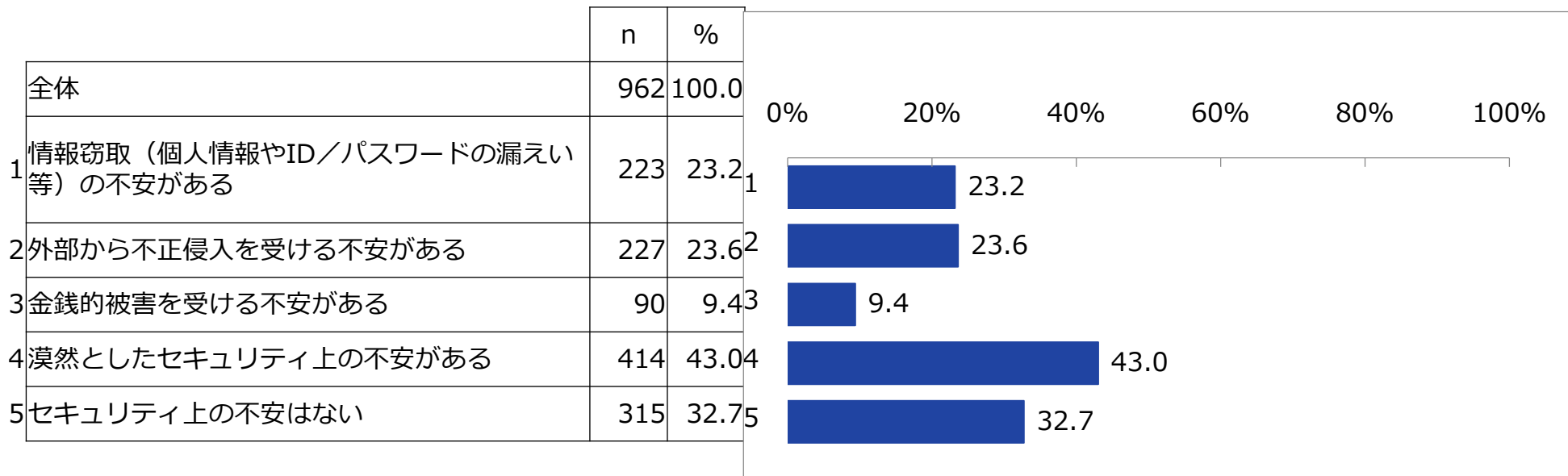


## □自宅Wi-Fi利用の不安感

- 自宅の無線LANについて、セキュリティ上の不安がある人が約7割、不安がない人が約3割、に分かれている。
- セキュリティ上の不安のうち、最も多いものは「漠然とした不安」で4割を超えている。

Q11.自宅の無線LANについて、セキュリティ上の不安はありますか。（いくつでも）

MA



# ■ 本調査：公衆Wi-Fi利用者

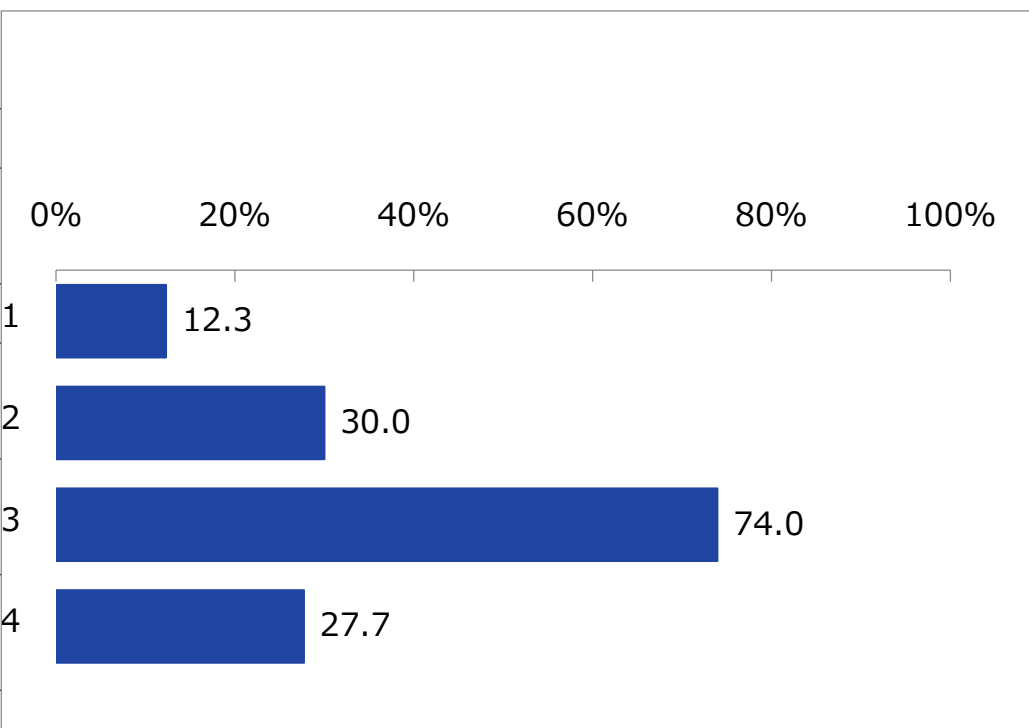
## □ 利用する公衆Wi-Fiの種類

- 公衆無線LANサービス利用者の約74%は、お店・ホテル・自治体などが提供する無料サービスを使用している。
- 提供者不明ながら、パスワード不要で利用できてしまう無料の公衆無線LANサービスを利用する人も3割程度いる。

Q12.公衆無線LANサービスとしてどのようなサービスを利用していますか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	480	100.0
1 有料のサービス	59	12.31
2 携帯電話契約などに付属した実質無料で使えるサービス	144	30.02
3 無料のサービス（お店やホテル、自治体などが提供しているもの）	355	74.03
4 無料のサービス（パスワード不要／提供している事業者は不明）	133	27.74



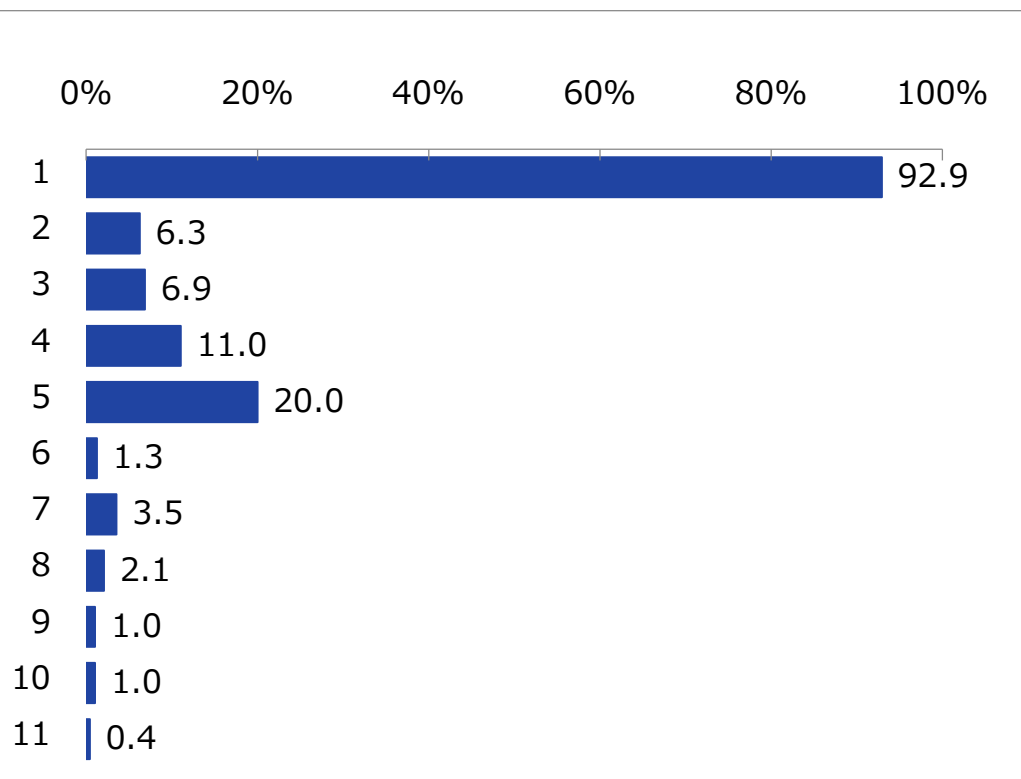
## □公衆Wi-Fi利用時の端末

- 公衆無線LANサービスを利用する人のほとんど（約93%）がスマートフォン（携帯電話契約あり）を利用している。
- 次いでパソコン利用者（約20%）、タブレット端末（携帯電話契約なし）（約11%）が多いが、かなり比率は低い。

Q13.公衆無線LANサービスで利用している端末をお答えください。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	480	100.0
1 スマートフォン（携帯電話契約あり）	446	92.9
2 スマートフォン（携帯電話契約なし）	30	6.3
3 タブレット端末（携帯電話契約あり）	33	6.9
4 タブレット端末（携帯電話契約なし）	53	11.0
5 パソコン	96	20.0
6 従来の携帯電話（ガラケー）	6	1.3
7 携帯型ゲーム機	17	3.5
8 電子書籍端末	10	2.1
9 デジタルオーディオプレイヤー	5	1.0
10 デジタルカメラ	5	1.0
11 その他：	2	0.4



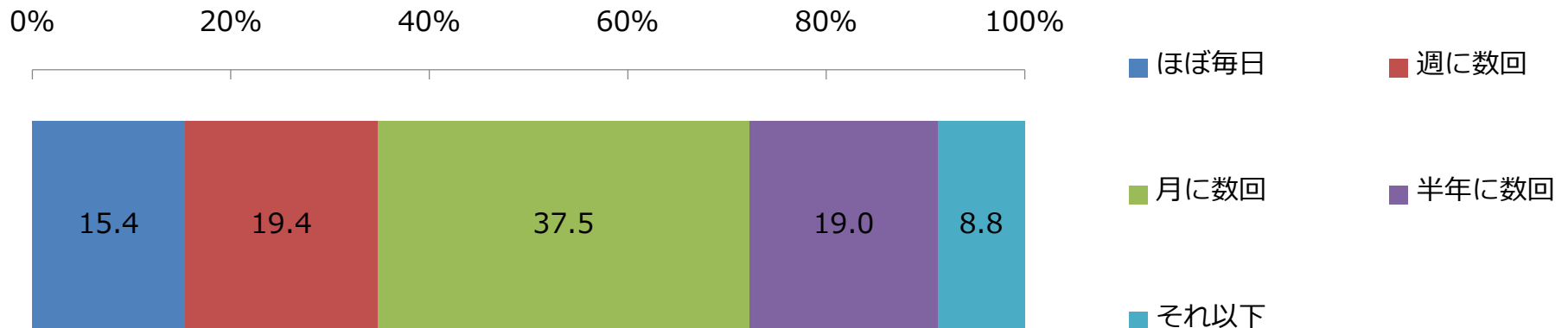
## □公衆Wi-Fi利用頻度

- 公衆無線LANサービスをほぼ毎日利用する人が約15%、週に数回利用する人が約19%で、いわゆるヘビーユーザは3分の1程度に留まる。
- 最も多いのは、月に数回程度の利用者で、約4割を占める。

Q14.公衆無線LANサービスをどのくらいの頻度で利用していますか。

SA

	n	%
全体	480	100.0
1 ほぼ毎日	74	15.4
2 週に数回	93	19.4
3 月に数回	180	37.5
4 半年に数回	91	19.0
5 それ以下	42	8.8

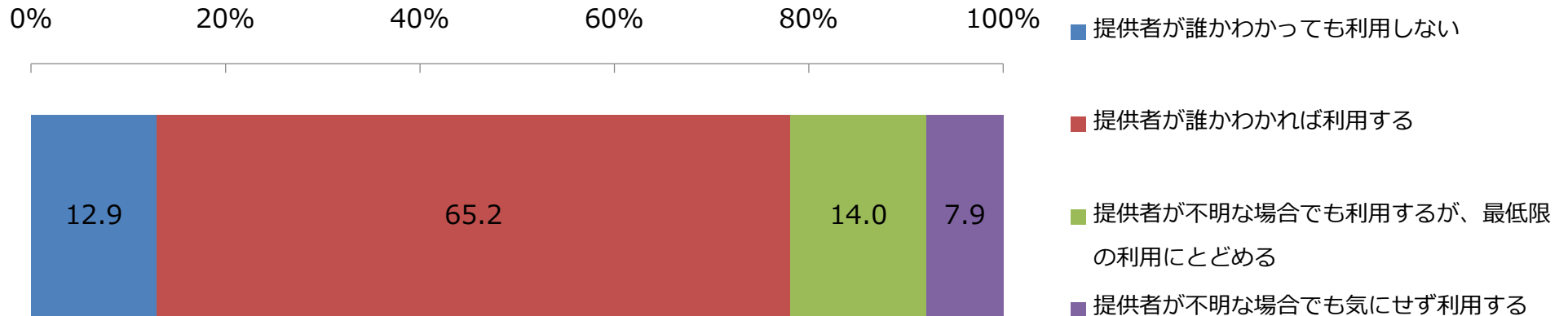


## □新たな公衆Wi-Fi発見時の接続行動

- 外出先で「パスワードなしで接続可能な無線LANサービス」を見つけたとき、提供者が分かれば利用する人が約65%に達している。

Q15.外出先でパスワードなしで接続可能な無線LANを見つけた場合に利用しますか。  
SA

	n	%
全体	480	100.0
1 提供者が誰かわかっても利用しない	62	12.9
2 提供者が誰かわかれば利用する	313	65.2
3 提供者が不明な場合でも利用するが、最低限の利用にとどめる	67	14.0
4 提供者が不明な場合でも気にせず利用する	38	7.9





## □初めて利用する公衆Wi-Fiでの利用規約・注意事項の確認

- 公衆無線LANサービスを初めて利用する際、利用規約や注意事項を確認する人と確認しない人は、約49%対約51%で、ちょうど半々に分かれている。
- ただし、常に確認する人は約12%に留まっている。

Q16.公衆無線LANサービスを初めて利用する際に、利用規約や注意事項を確認しますか。

SA

	n	%
全体	480	100.0
1常に確認する	56	11.7
2だいたい確認する	177	36.9
3あまり確認しない	185	38.5
4まったく確認しない	62	12.9



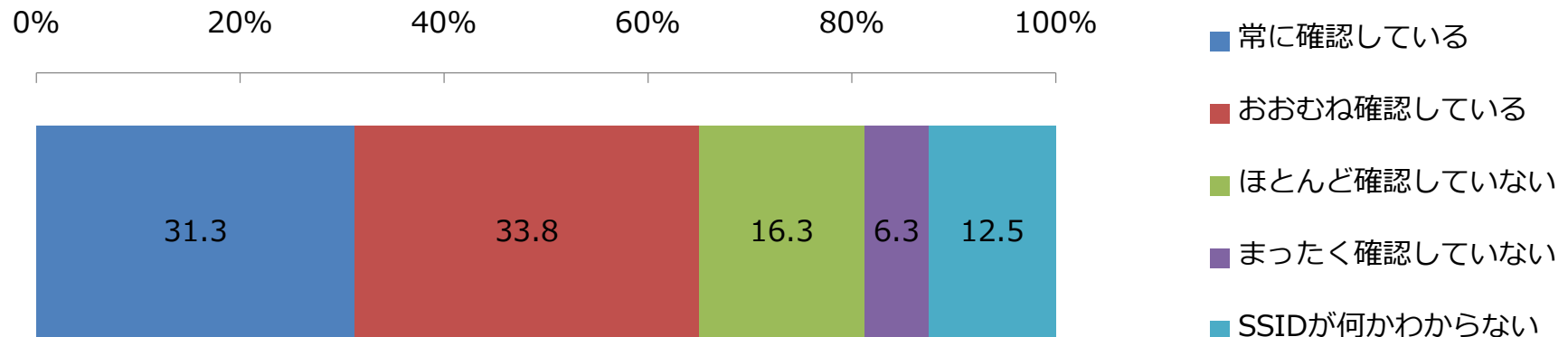
## □ 【SSID】 公衆Wi-Fi利用時のSSIDの確認

- 公衆無線LANサービス利用時、常にSSIDを確認する人が約31%、概ね確認する人が約34%おり、合わせて約65%が「SSID確認派」。
- SSIDを確認しない人も約23%いるが、そもそも、SSIDが何かわからない人も約13%を占める。

Q17.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、接続先の名前である「SSID」を確認していますか。なお、「SSID」は次の図のように無線LANの接続先リストの一覧に表示される名前のことです。

SA

	n	%
全体	480	100.0
1 常に確認している	150	31.3
2 おおむね確認している	162	33.8
3 ほとんど確認していない	78	16.3
4 まったく確認していない	30	6.3
5 SSIDが何かわからない	60	12.5



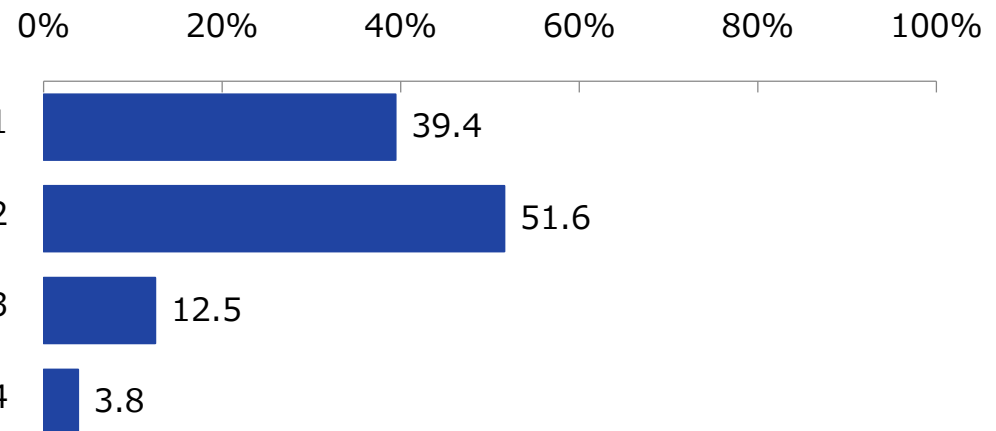
## □ 【SSID】 公衆Wi-Fi利用時のSSIDの確認シーン

- 公衆無線LANサービス利用時にSSIDを確認する人の約半数は普段利用しない場所で使うときにSSIDの確認をしている。
- 状況によらず常に確認している人も4割程度いる。

Q18.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、「SSID」を確認するのはどのようなときですか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	312	100.0
1 状況によらず常に確認している	123	39.41
2 普段利用しない場所で使うとき	161	51.6
3 通信状況が悪いとき（通信が重い、途切れるなど）	39	12.53
4 個人情報など重要な情報をやりとりするとき	12	3.84



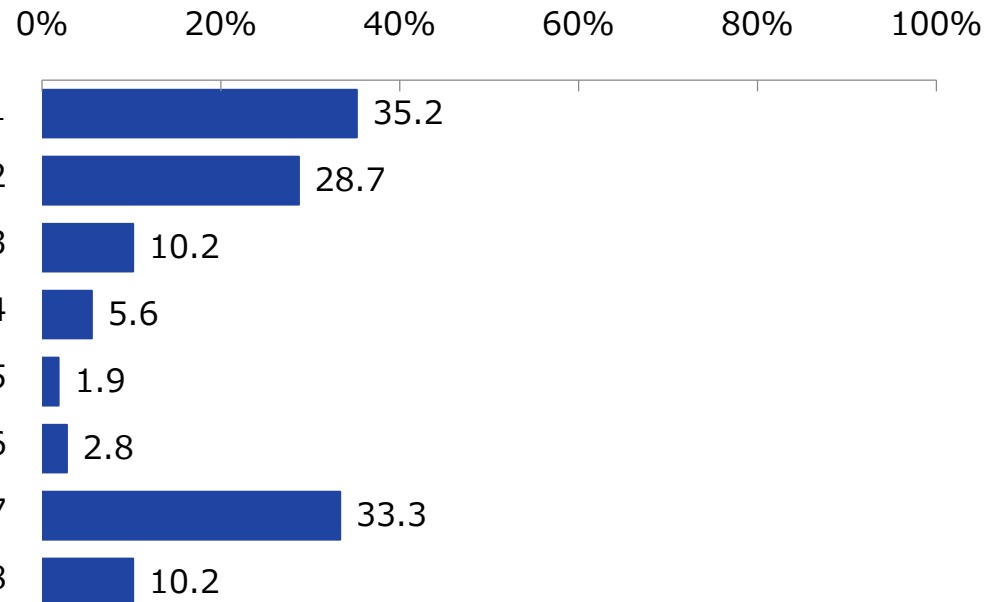
## □ 【SSID】 外出先でのWi-Fi利用時のSSID非確認理由

- 公衆無線LANサービス利用時にSSIDを確認しない人の理由としては、確認方法がわからない（約35%）、面倒くさい（約33%）、自動接続される（約29%）などが多い。

Q19.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、「SSID」を確認しないのはなぜですか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	108	100.0
1 確認方法がわからないため	38	35.2
2 サービスエリアになると自動接続されるため	31	28.7
3 個人情報などの重要な情報をやりとりしないため	11	10.2
4 端末にセキュリティ対策をしているため	6	5.6
5 VPNサービスを利用しているため	2	1.9
6 無線LAN接続の専用ソフトウェア（アプリ）を利用しているため	3	2.8
7 確認が面倒くさいため	36	33.3
8 確認の必要性を感じないため	11	10.2



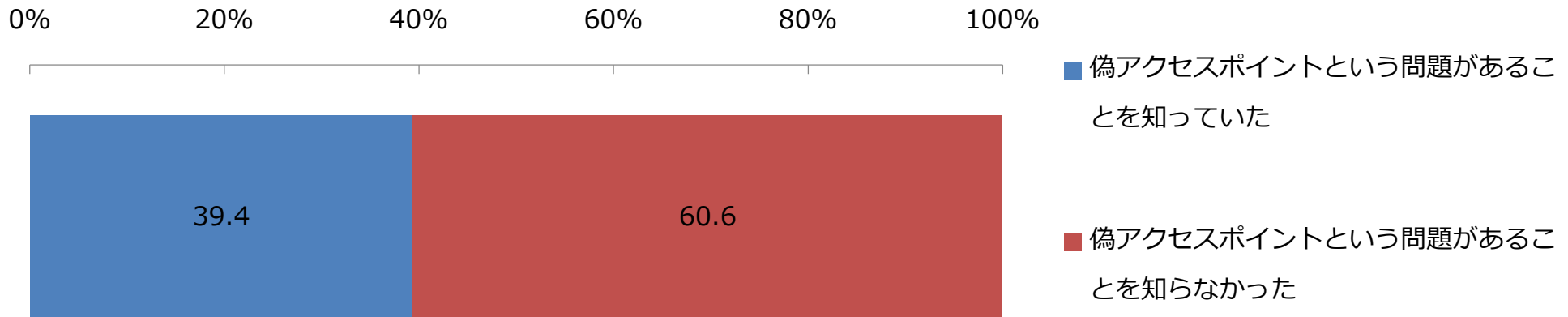
## □ 【SSID】 偽アクセスポイント問題の認知

- 公衆無線LANサービス利用者は、偽アクセスポイント問題について、認知している人と認知していない人の比率が約4割対約6割となっており、十分には認知されていない。

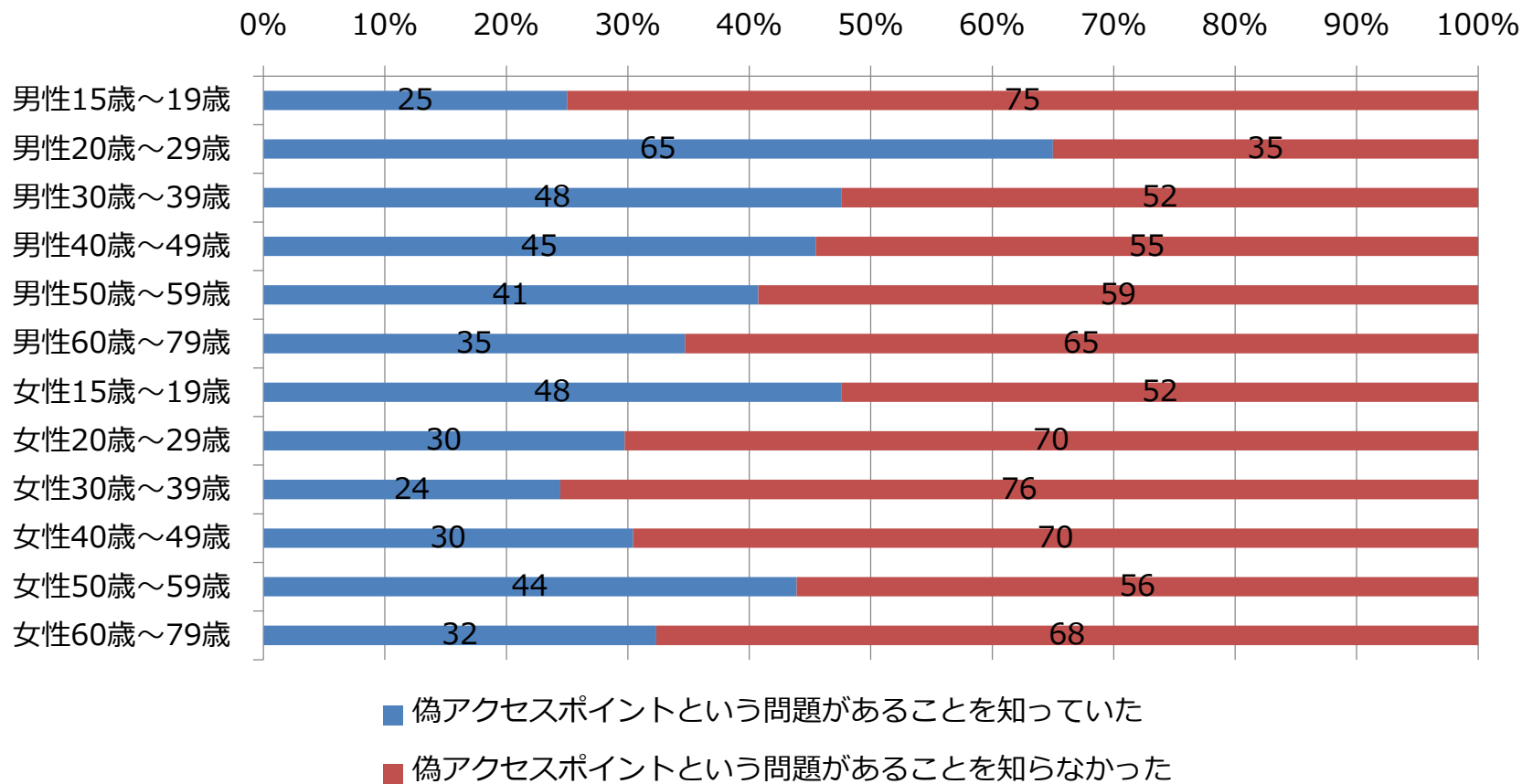
Q20.公衆無線LANサービスには「SSID」が本物と同じである偽物のサービスを比較的簡単に構築することができます。こうした偽の接続先を「偽アクセスポイント」と呼び、これに接続してしまうと、通信内容が盗み見られることがあります。こういったことをご存じでしたか。

SA

	n	%
全体	480	100.0
1 偽アクセスポイントという問題を知っていた	189	39.4
2 偽アクセスポイントという問題を知らなかった	291	60.6



- 公衆無線LANサービス利用者の偽アクセスポイント問題についての認知は、男性は概ね若い年代の人ほど認知度が高い傾向にあるが、女性は中年層で認知度が低くなっている。



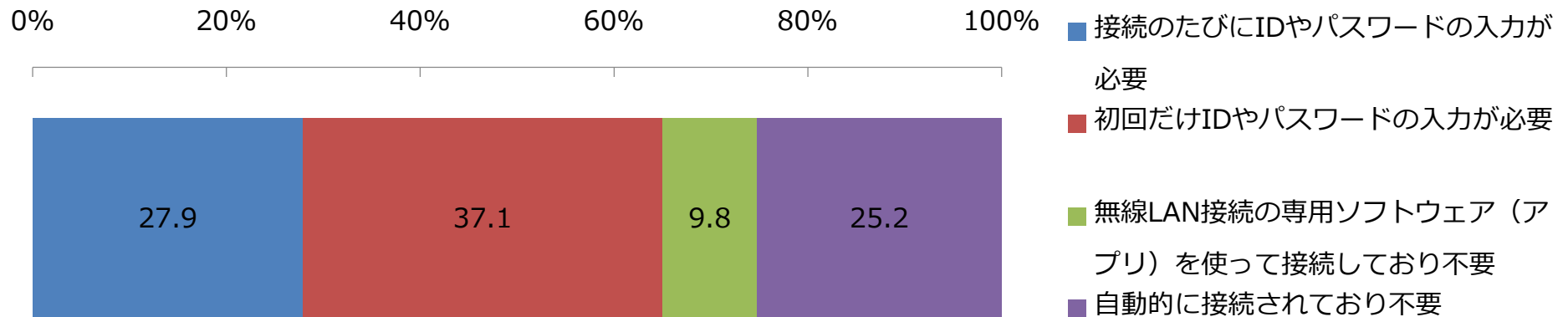
## □公衆Wi-FiでのID・PWの都度入力の要否

- 接続の都度、IDやパスワードの入力が必要な公衆無線LANサービス利用者は約28%。
- 初回だけID・パスワードの入力が必要なサービスの利用者（約37%）や、自動接続される人（約25%）が多い。

Q21.あなたが普段使用する公衆無線LANサービスは、接続のたびにIDやパスワードの入力が必要ですか。最も利用する公衆無線LANサービスについてお答えください。

SA

	n	%
全体	480	100.0
1 接続のたびにIDやパスワードの入力が必要	134	27.9
2 初回だけIDやパスワードの入力が必要	178	37.1
3 無線LAN接続の専用ソフトウェア（アプリ）を使って接続しており不要	47	9.8
4 自動的に接続されており不要	121	25.2

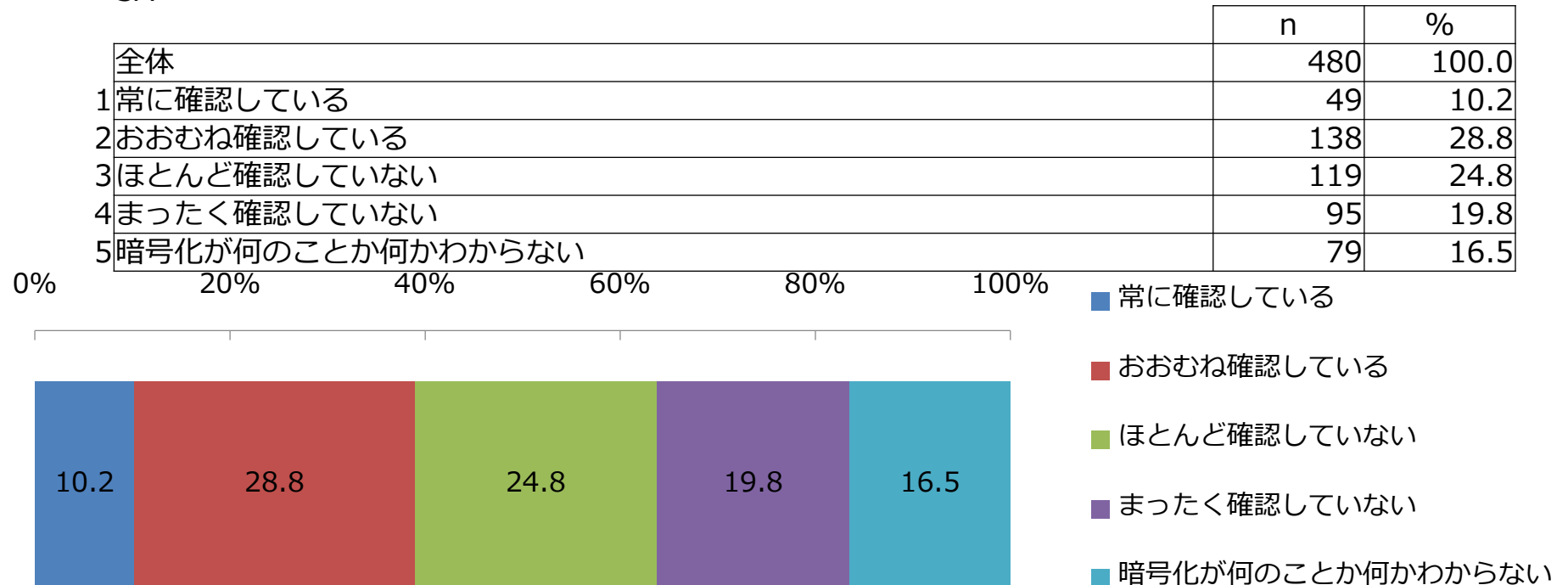


## □ 【暗号化】 公衆Wi-Fi利用時の暗号化の確認

- 公衆無線LANサービス利用時に無線区間の暗号化の有無を確認している人は4割程度に留まる。
- 常時確認者は約1割しかおらず、そもそも、暗号化が何のことかわからない人が約17%いる。

Q22.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、無線区間の暗号化（WPA2等）の有無を確認していますか。

SA



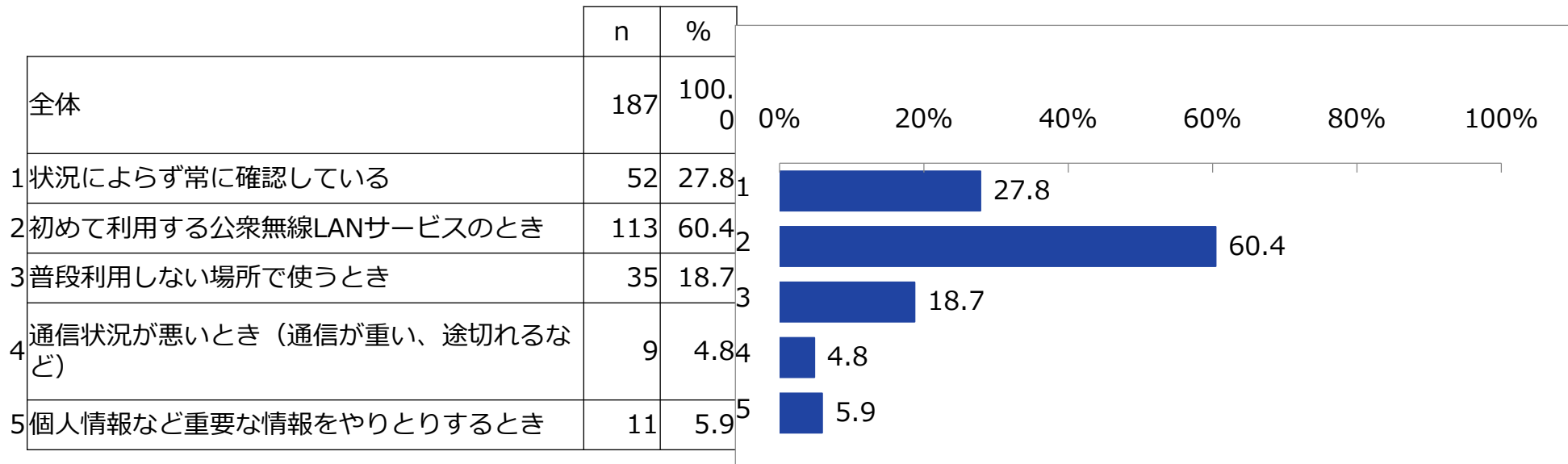


## □ 【暗号化】 公衆Wi-Fi利用時の暗号化の確認シーン

- 公衆無線LANサービス利用時に暗号化を確認する人の約6割は初めて利用するサービスのときに暗号化の確認をしている。
- 状況によらず常に確認している人も3割程度いる。

Q23.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、無線区間の暗号化の有無を確認するのはどのようなときですか。  
(いくつでも)

MA



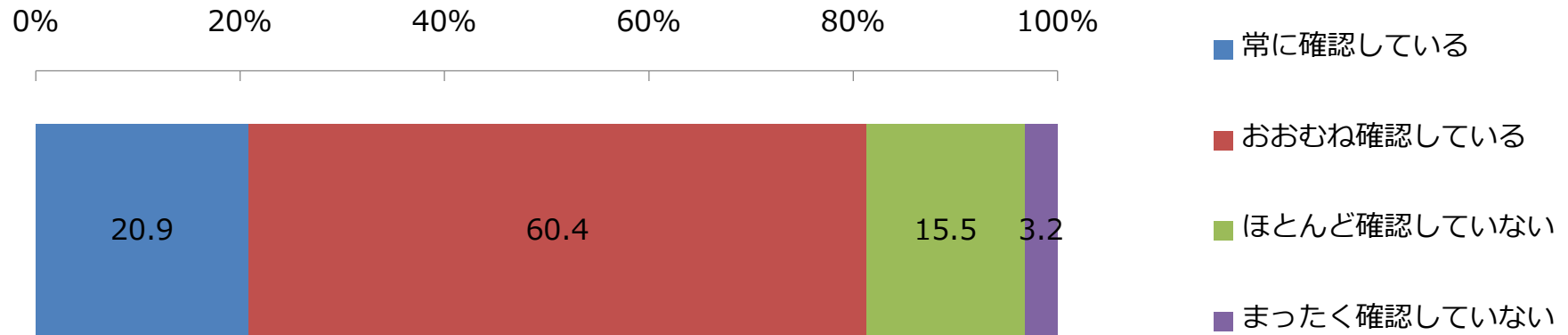
## □ 【暗号化】 公衆Wi-Fi利用時の暗号化の種類の確認

- 公衆無線LANサービス利用時に暗号化の有無を確認している人の多く（約81%）は、暗号化の種類も確認している。
- 常時確認している人も約21%いる。

Q24.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、無線区間の暗号化の有無に加えて暗号化の種類（WEP・WPA等）を確認していますか。

SA

	n	%
全体	187	100.0
1 常に確認している	39	20.9
2 おおむね確認している	113	60.4
3 ほとんど確認していない	29	15.5
4 まったく確認していない	6	3.2



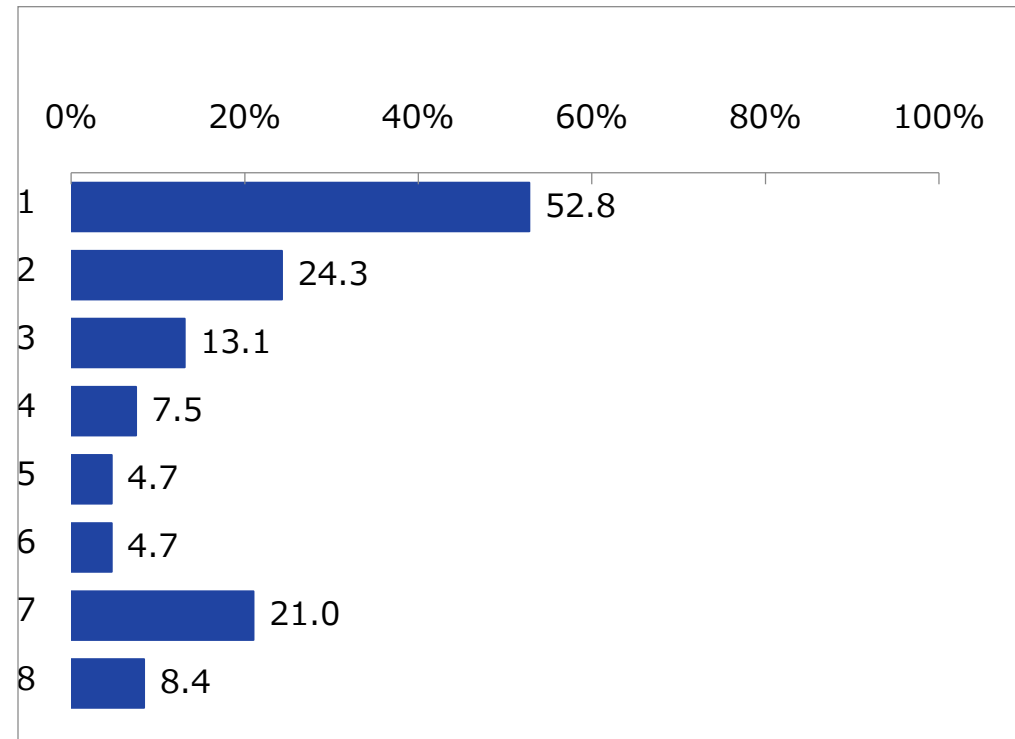
## □ 【暗号化】 公衆Wi-Fi利用時の暗号化の非確認理由

- 公衆無線LANサービス利用時に暗号化の有無を確認しない人の理由としては、確認方法がわからない（約53%）、自動接続される（約24%）、面倒くさい（約21%）などが多い。

Q25.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、無線区間の暗号化の有無を確認しないのはなぜですか。  
（いくつでも）

MA

	n	%
全体	214	100.0
1 確認方法がわからないため	113	52.8
2 サービスエリアになると自動接続されるため	52	24.3
3 個人情報などの重要な情報をやりとりしないため	28	13.1
4 端末にセキュリティ対策をしているため	16	7.5
5 VPNサービスを利用しているため	10	4.7
6 無線LAN接続の専用ソフトウェア（アプリ）を利用しているため	10	4.7
7 確認が面倒くさいため	45	21.0
8 確認の必要性を感じないため	18	8.4



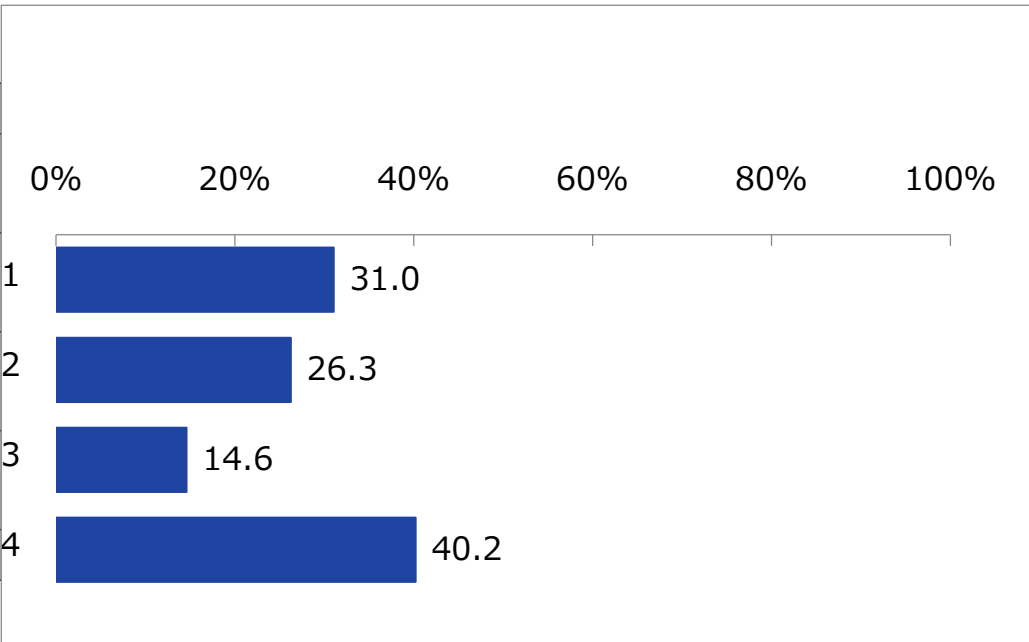
## □ 【https通信】 HTTPS通信の認知

- https通信について何も知らない人が約4割いる。
- 認知している人も、https://なら暗号化されることを知っている人が約31%、鍵マークを知っている人が約26%。

Q26.Webサイトの閲覧等の際に、手元の端末から、Webサイトのサーバまでの間の通信を暗号化する手法として、いわゆるHTTPS（TLS）通信があります。また、HTTPS通信であることは、URLの先頭が「https://」であったり、ブラウザのURL入力欄に鍵マークがついていたりすることで確認できます。これを知っていますか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	480	100.0
1 「https://」なら暗号化されることを知っていた	149	31.0
2 URL入力欄の鍵マークなら暗号化されることを知っていた	126	26.3
3 通信を暗号化する手法があることは知っていたが、確認方法は知らなかった	70	14.6
4 何も知らなかった	193	40.2



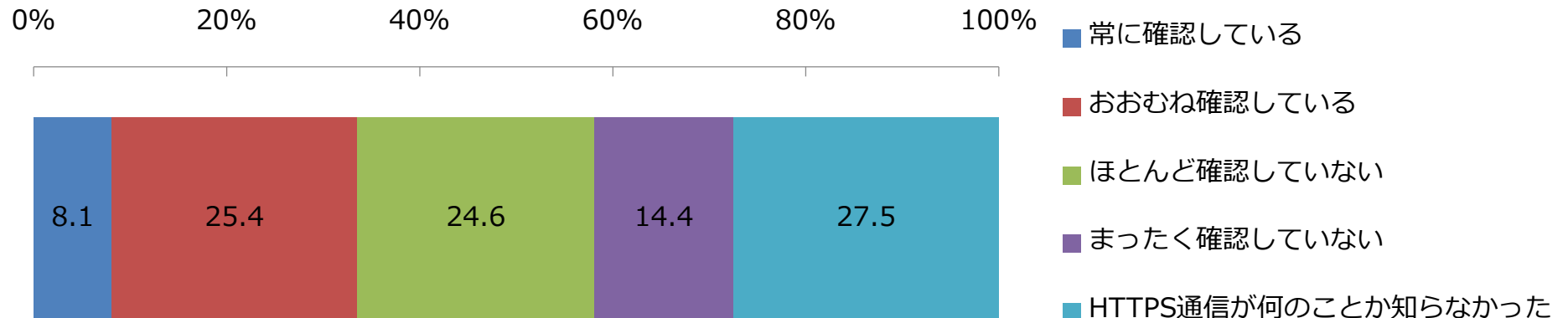
## □ 【https通信】 公衆Wi-Fi利用時のHTTPS通信の確認

- 公衆無線LANサービス利用時にhttps通信の有無を確認している人は約34%。
- 常時確認者は約8%しかおらず、そもそも、https通信が何のことかわからない人が約28%いる。

Q27.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、HTTPS通信の有無を確認していますか。なお、HTTPS通信であることは、URLの先頭が「https://」であったり、ブラウザのURL入力欄に鍵マークがついていたりすることで確認できます。

SA

	n	%
全体	480	100.0
1 常に確認している	39	8.1
2 おおむね確認している	122	25.4
3 ほとんど確認していない	118	24.6
4 まったく確認していない	69	14.4
5 HTTPS通信が何のことかわらなかった	132	27.5

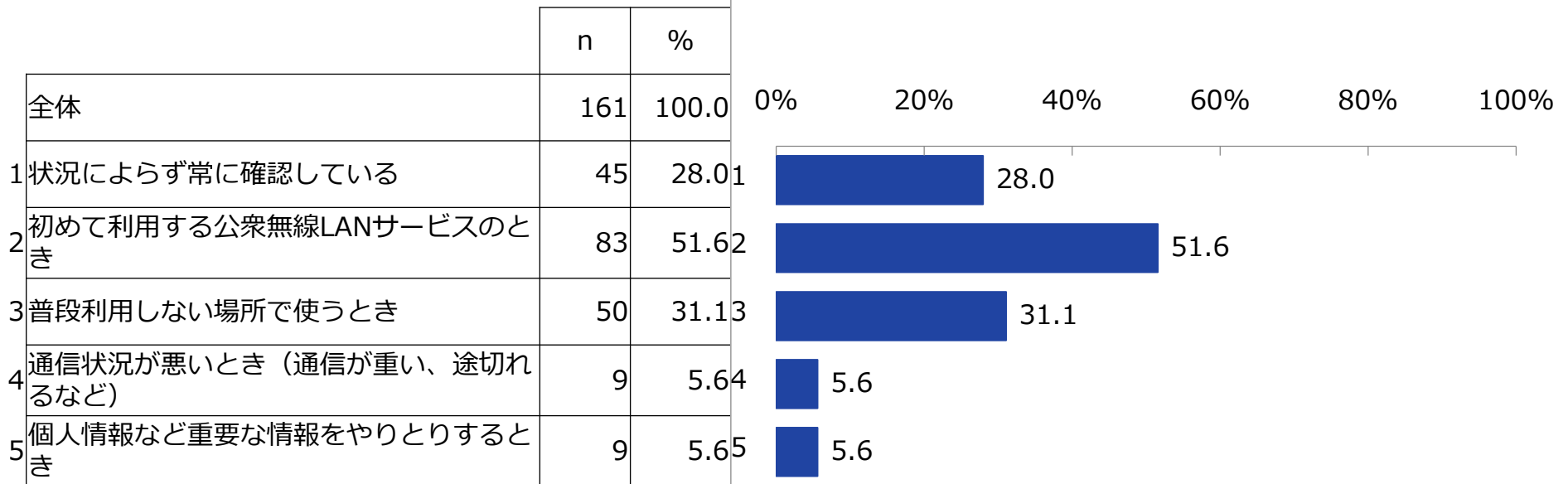


## □ 【https通信】 公衆Wi-Fi利用時のHTTPS通信の確認シーン

- 公衆無線LANサービス利用時にhttps通信を確認する人の約半数は初めて利用するサービスのときにhttps通信の確認をしている。次いで、普段利用しない場所で使うときが約31%。
- 状況によらず常に確認している人も3割程度いる。

Q28.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、HTTPS通信の有無を確認するのはどのようなときですか。  
(いくつでも)

MA



## □ 【https通信】 公衆Wi-Fi利用時のHTTPS通信+ドメインの確認

- 公衆無線LANサービス利用時にhttps通信の有無を確認している人の多く（約88%）は、ドメインも確認している。
- 常時確認している人も約27%いる。

Q29.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、HTTPS通信の有無に加えてドメイン（「https://」に続く部分。例えば「soumu.go.jp」など。）を確認していますか。

SA

	n	%
全体	161	100.0
1 常に確認している	43	26.7
2 おおむね確認している	98	60.9
3 ほとんど確認していない	17	10.6
4 まったく確認していない	3	1.9

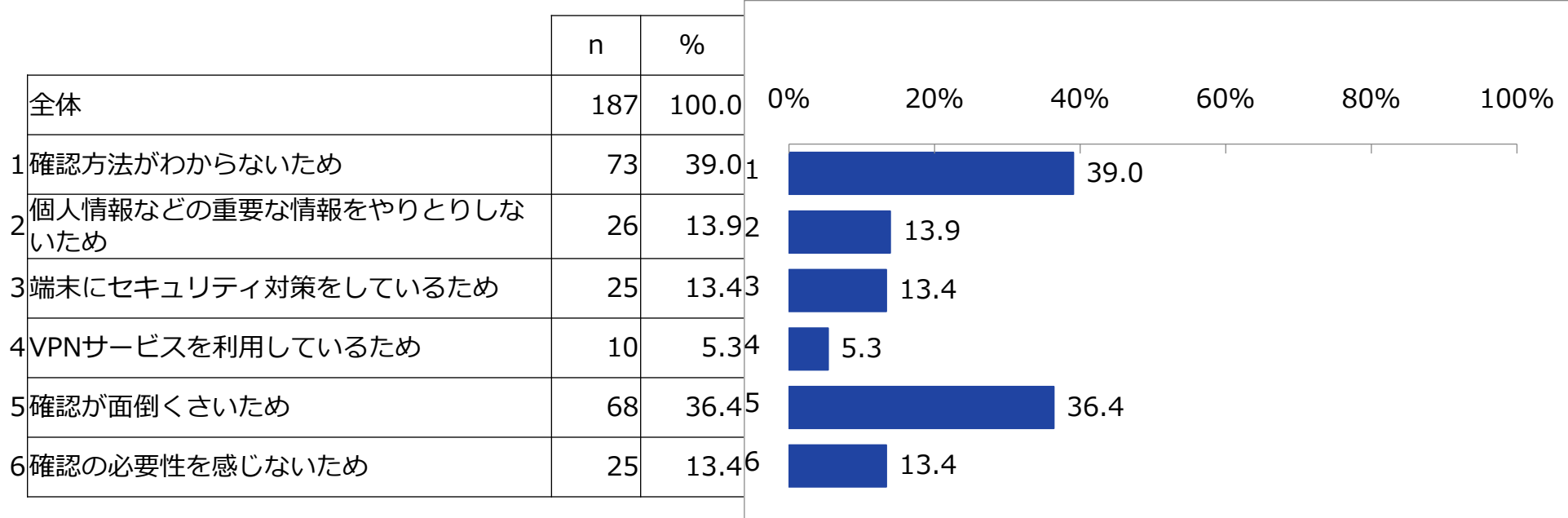


## □ 【https通信】 公衆Wi-Fi利用時のHTTPS通信の非確認理由

- 公衆無線LANサービス利用時にhttps通信の有無を確認しない人の理由としては、確認方法がわからない（約39%）、面倒くさい（約36%）などが多い。

Q30.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、HTTPS通信の有無を確認しないのはなぜですか。（いくつでも）

MA



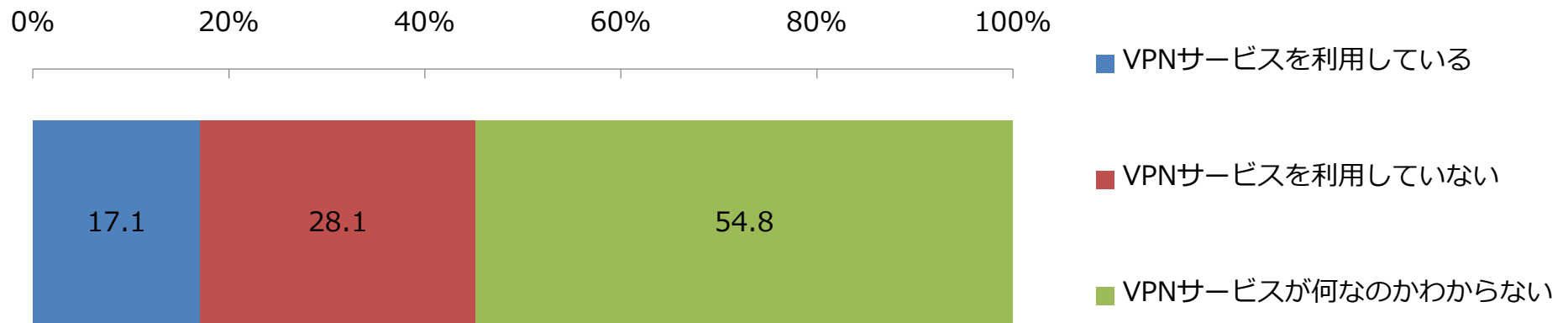


## □公衆Wi-Fi利用時のVPNの利用

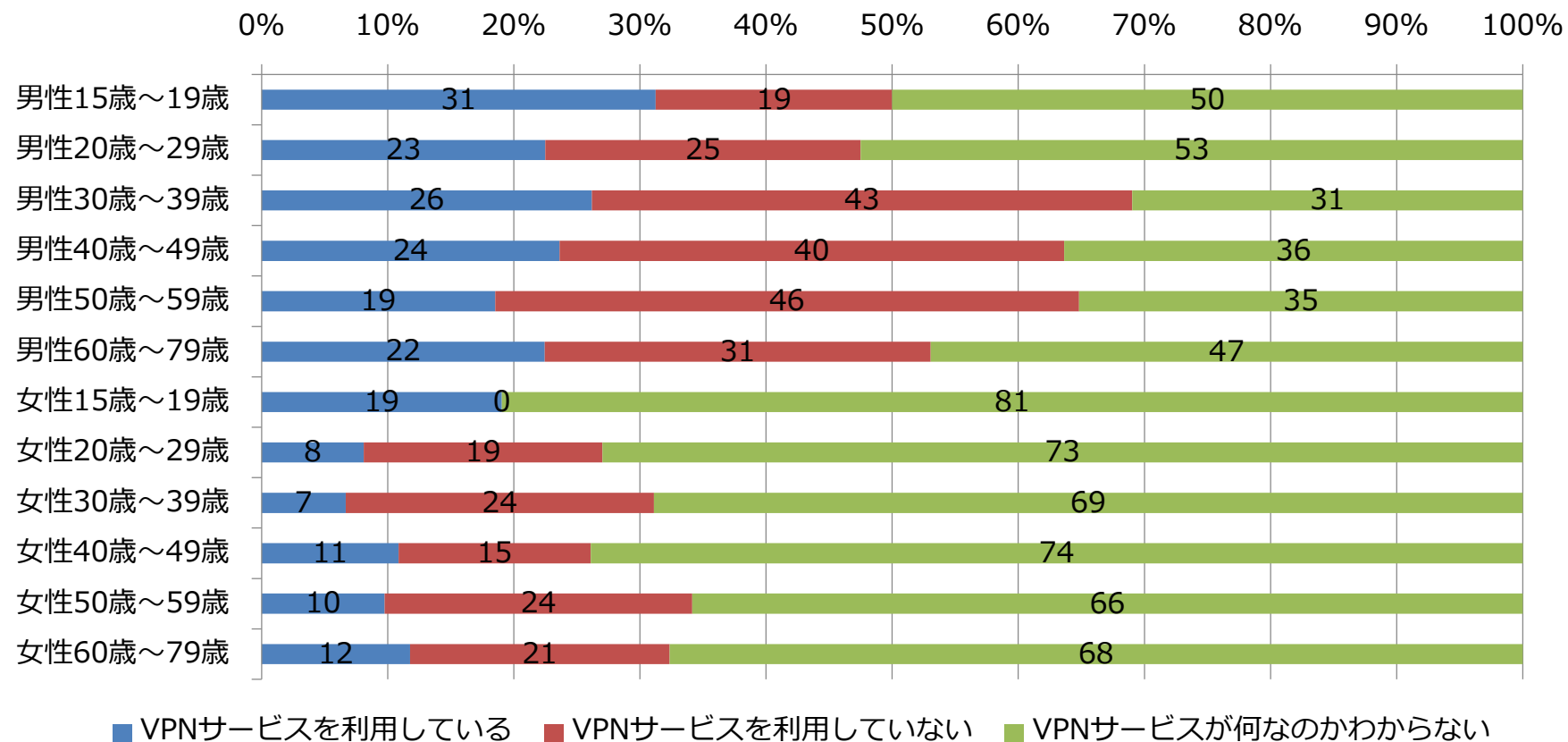
- 公衆無線LANサービス利用時にVPNサービスを利用している人は約17%。
- そもそもVPNサービスが何なのかわからない人が約55%いる。

Q31.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、VPNサービスを利用していますか。  
SA

	n	%
全体	480	100.0
1 VPNサービスを利用している	82	17.1
2 VPNサービスを利用していない	135	28.1
3 VPNサービスが何なのかわからない	263	54.8



- 公衆無線LANサービス利用時のVPNサービスの利用は性差が明確。
- 男性ユーザの利用率が相対的に高いが、女性ユーザはどの年代でも、そもそもVPNサービスが何なのかわからない人が過半数。



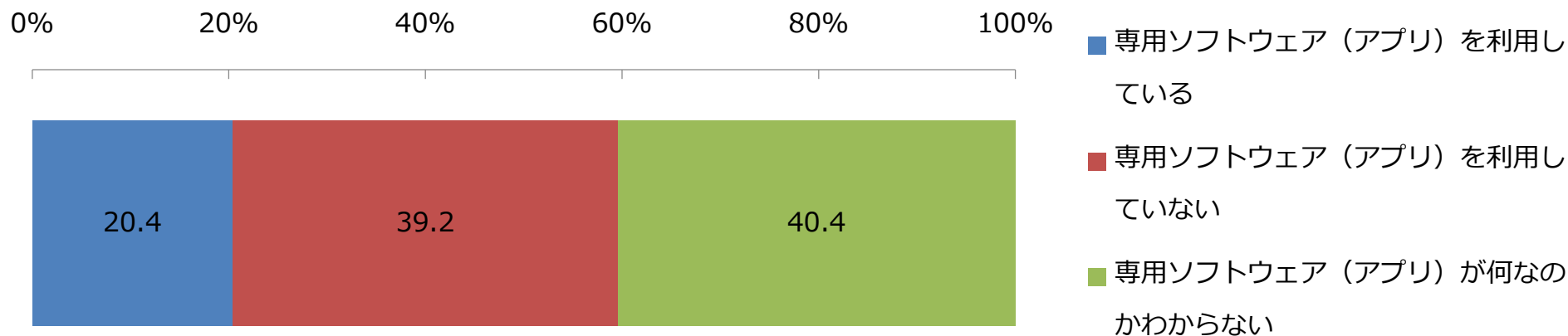
## □公衆Wi-Fi利用時の専用アプリの利用

- 公衆無線LANサービス利用時に専用ソフトウェア（アプリ）を利用している人は約2割。
- そもそも専用ソフトウェア（アプリ）が何なのかわからない人が約4割いる。

Q32.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、無線LAN接続の専用ソフトウェア（アプリ）を利用していますか。

SA

	n	%
全体	480	100.0
1 専用ソフトウェア（アプリ）を利用している	98	20.4
2 専用ソフトウェア（アプリ）を利用していない	188	39.2
3 専用ソフトウェア（アプリ）が何なのかわからない	194	40.4

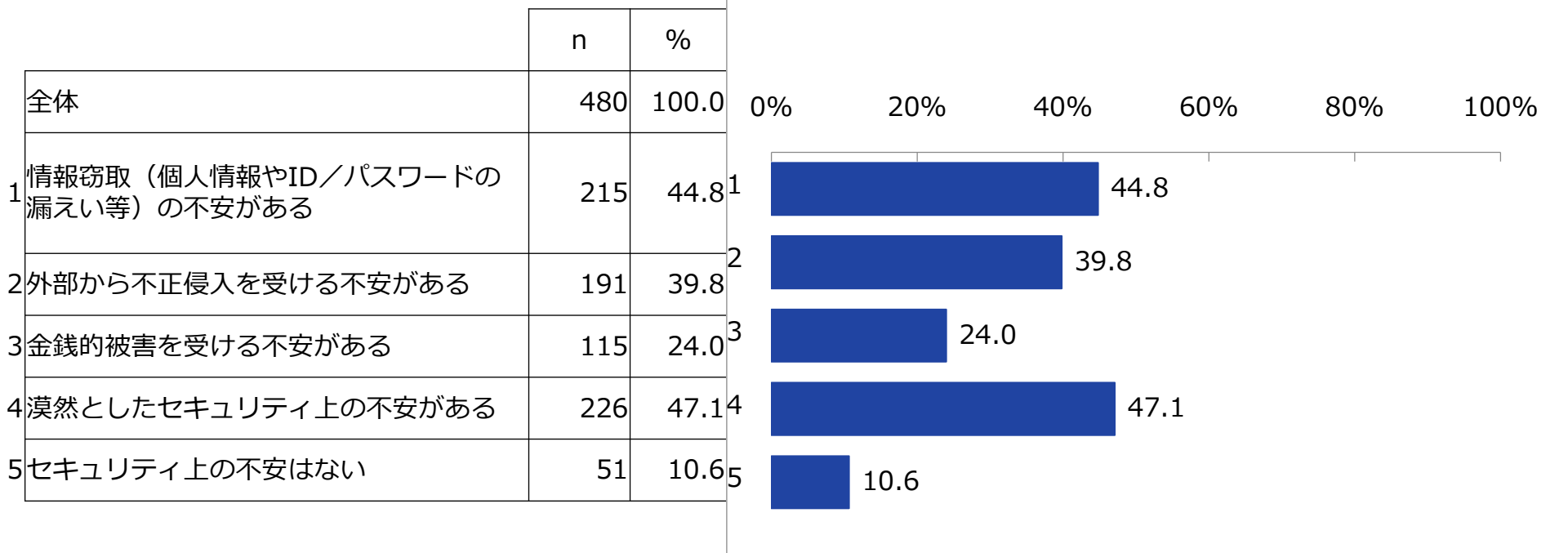


## □公衆Wi-Fi利用の不安感

公衆無線LANサービス利用時にセキュリティ上の不安がある人が約9割と大多数。最も多いセキュリティ上の不安は漠然としたもの（約47%）で、具体的なものとしては、情報窃取（約45%）、不正侵入（約40%）などがある。

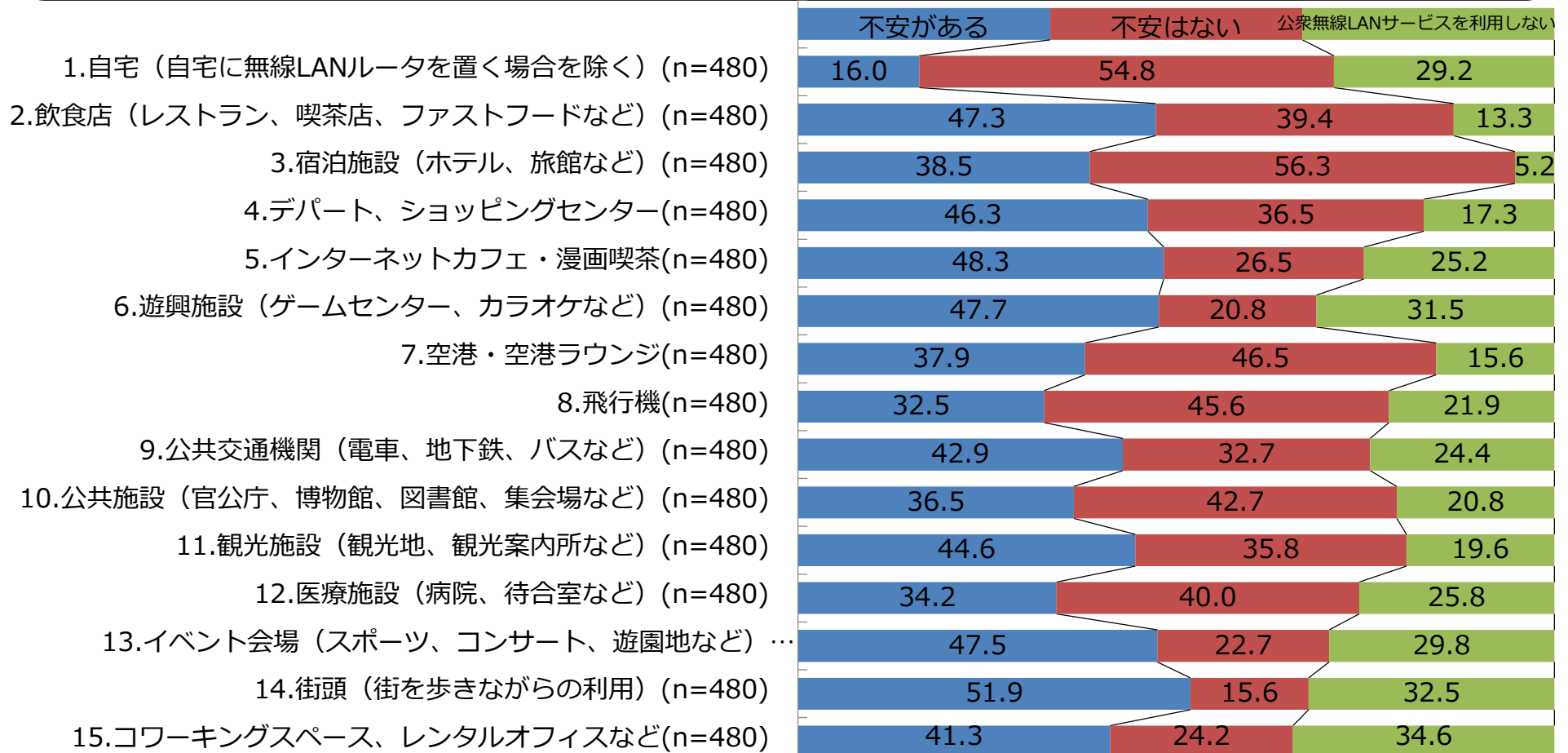
Q33.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、セキュリティ上の不安はありますか。（いくつでも）

MA



## □公衆Wi-Fi利用の場所ごとの不安感

- 公衆無線LANサービスの利用に最も不安がないのは自宅での公衆無線LANサービス利用。（不安なし約55%）
- 最も不安が大きいのは街頭で、約52%が不安。次いで、インターネットカフェ（約48%が不安）、遊興施設（同約48%）、イベント会場（同約48%）。

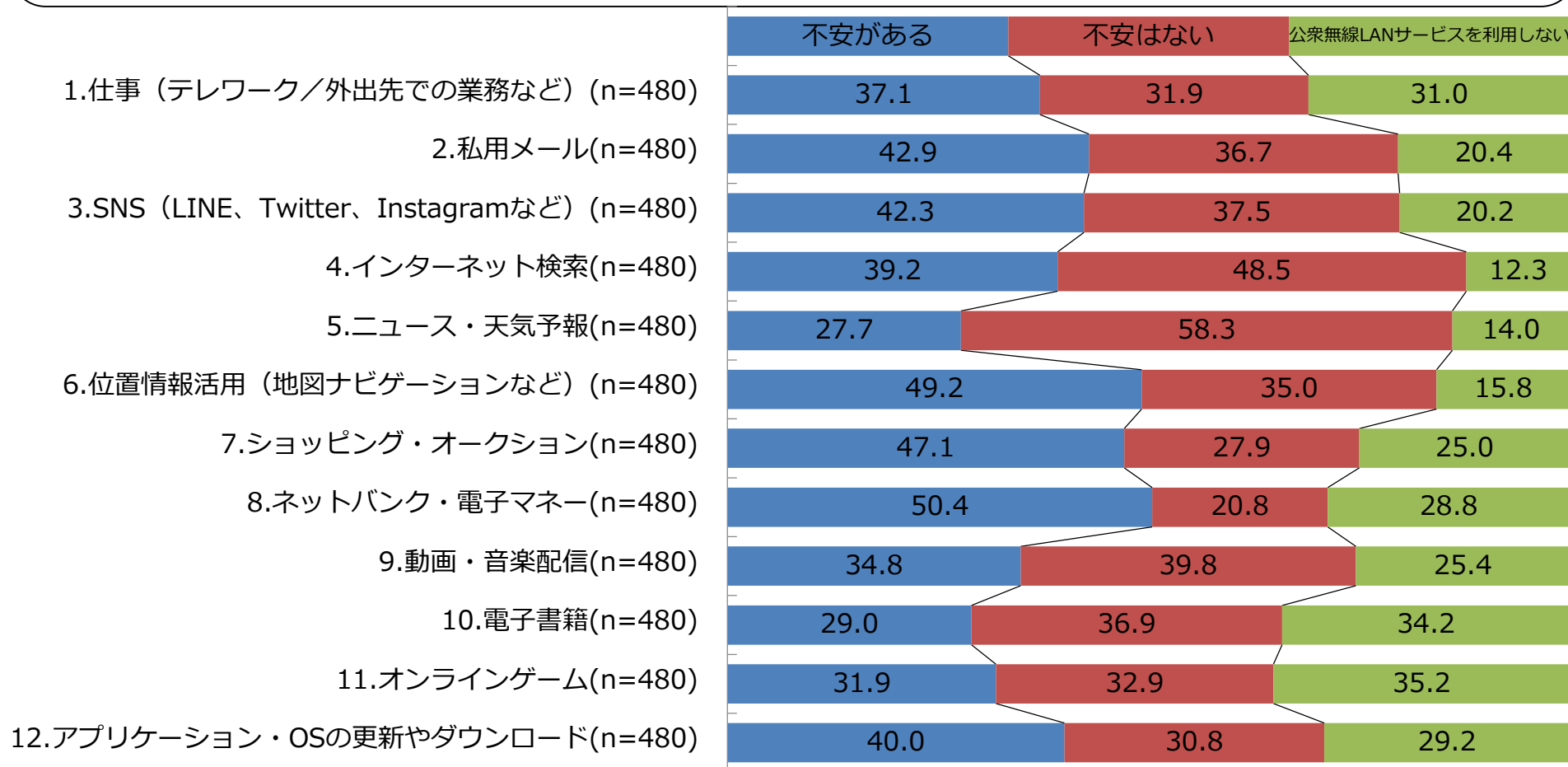


Q34.次の場所で公衆無線LANサービスを利用する時に、不安はありますか。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。SA

	n	不安がある	不安はない	公衆無線LANサービス を利用しない
1.自宅（自宅に無線LANルータを置く場合を除く）	480 100.0	77 16.0	263 54.8	140 29.2
2.飲食店（レストラン、喫茶店、ファストフードなど）	480 100.0	227 47.3	189 39.4	64 13.3
3.宿泊施設（ホテル、旅館など）	480 100.0	185 38.5	270 56.3	25 5.2
4.デパート、ショッピングセンター	480 100.0	222 46.3	175 36.5	83 17.3
5.インターネットカフェ・漫画喫茶	480 100.0	232 48.3	127 26.5	121 25.2
6.遊興施設（ゲームセンター、カラオケなど）	480 100.0	229 47.7	100 20.8	151 31.5
7.空港・空港ラウンジ	480 100.0	182 37.9	223 46.5	75 15.6
8.飛行機	480 100.0	156 32.5	219 45.6	105 21.9
9.公共交通機関（電車、地下鉄、バスなど）	480 100.0	206 42.9	157 32.7	117 24.4
10.公共施設（官公庁、博物館、図書館、集会場など）	480 100.0	175 36.5	205 42.7	100 20.8
11.観光施設（観光地、観光案内所など）	480 100.0	214 44.6	172 35.8	94 19.6
12.医療施設（病院、待合室など）	480 100.0	164 34.2	192 40.0	124 25.8
13.イベント会場（スポーツ、コンサート、遊園地など）	480 100.0	228 47.5	109 22.7	143 29.8
14.街頭（街を歩きながらの利用）	480 100.0	249 51.9	75 15.6	156 32.5
15.コワーキングスペース、レンタルオフィスなど	480 100.0	198 41.3	116 24.2	166 34.6

## □公衆Wi-Fi利用の目的(サービス)ごとの不安感

- 公衆無線LANサービスの利用に最も不安がないのはニュース・天気予報。(不安なし約58%)
- 最も不安が大きいのはネットバンク・電子マネーで約50%が不安。次いで、位置情報活用(約49%が不安)、ショッピング・ネットオークション(同約47%)。



Q35.次のサービスを公衆無線LANサービスで利用する時に、不安はありますか。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

SA

	n	不安がある	不安はない	公衆無線LANサービスを利用しない
1.仕事（テレワーク／外出先での業務など）	480 100.0	178 37.1	153 31.9	149 31.0
2.私用メール	480 100.0	206 42.9	176 36.7	98 20.4
3.SNS（LINE、Twitter、Instagramなど）	480 100.0	203 42.3	180 37.5	97 20.2
4.インターネット検索	480 100.0	188 39.2	233 48.5	59 12.3
5.ニュース・天気予報	480 100.0	133 27.7	280 58.3	67 14.0
6.位置情報活用（地図ナビゲーションなど）	480 100.0	236 49.2	168 35.0	76 15.8
7.ショッピング・オークション	480 100.0	226 47.1	134 27.9	120 25.0
8.ネットバンク・電子マネー	480 100.0	242 50.4	100 20.8	138 28.8
9.動画・音楽配信	480 100.0	167 34.8	191 39.8	122 25.4
10.電子書籍	480 100.0	139 29.0	177 36.9	164 34.2
11.オンラインゲーム	480 100.0	153 31.9	158 32.9	169 35.2
12.アプリケーション・OSの更新やダウンロード	480 100.0	192 40.0	148 30.8	140 29.2



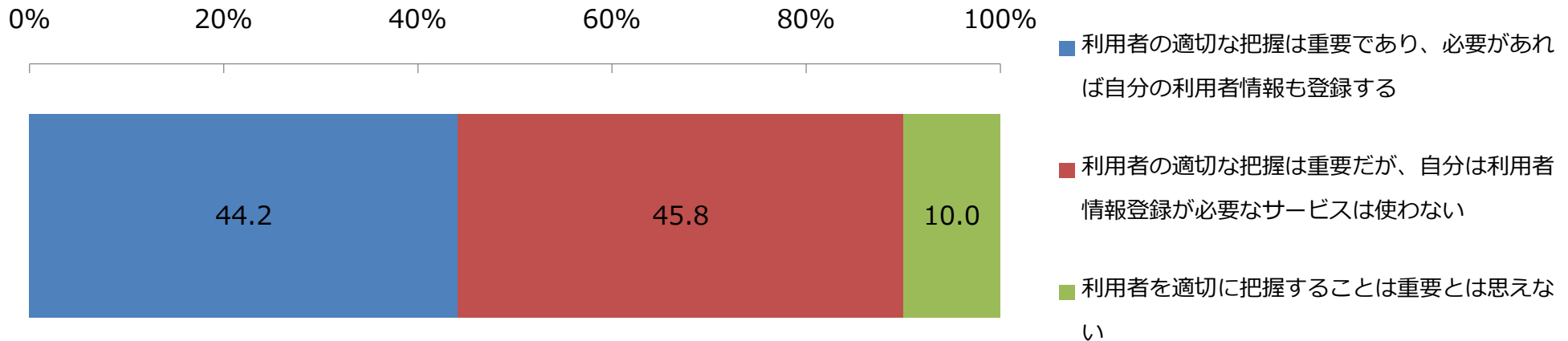
## □公衆Wi-Fi利用時の利用者情報登録許諾

- 公衆無線LANサービスの利用に際し、利用者の適切な把握は重要、と考える人は約9割で大多数。
- 実際に、必要があれば自分の利用者情報を登録するという人は、重要視する人の半数程度約44%に留まる。

Q36.公衆無線LANサービスを利用する時には、不正利用防止のため、利用者情報を確認する場合があります。利用者情報の確認には、SNS（LINE、Twitter等）アカウントや、メールアドレス、携帯電話番号などを、公衆無線LANサービスに登録等する必要がありますが、どのように考えますか。

SA

	n	%
全体	480	100.0
利用者の適切な把握は重要であり、必要があれば自分の利用者情報も登録する	212	44.2
利用者の適切な把握は重要だが、自分は利用者情報登録が必要なサービスは使わない	220	45.8
利用者を適切に把握することは重要とは思えない	48	10.0



# ■ 本調査：自宅Wi-Fiまたは公衆Wi-Fi利用者

## □ 総務省ガイドライン(緑)認知

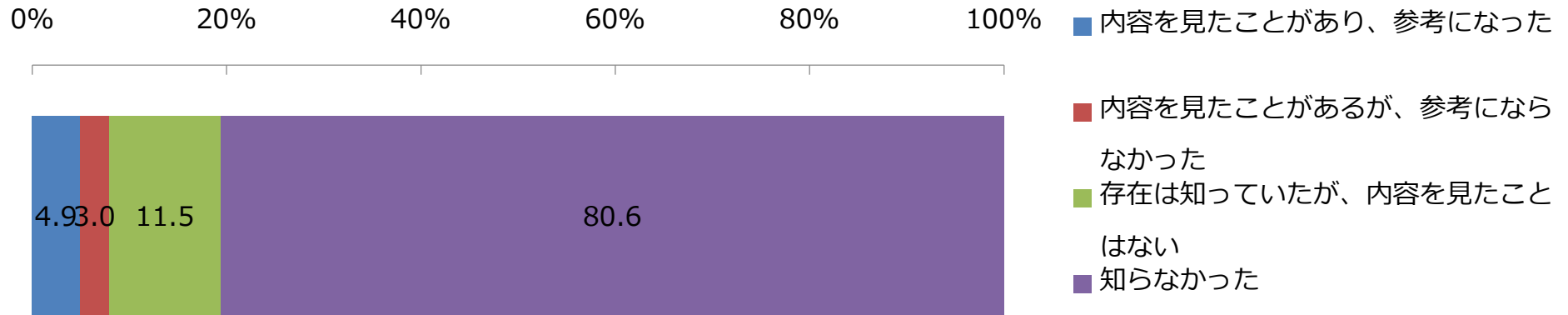
- 総務省「Wi-Fi利用者向け 簡易マニュアル」の存在を知っていた人は約19%で、うち、内容を見たことがある人は約8%に留まる。

Q37.総務省では、無線LANの利用者に向けて、必要なセキュリティ対策をとりまとめた「Wi-Fi利用者向け 簡易マニュアル」を公表していますが、ご存じですか。※下記のURLを必ずクリックしてからお答えください。

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/cybersecurity/wi-fi/](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/wi-fi/)

SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 内容を見たことがあり、参考になった	49	4.9
2 内容を見たことがあるが、参考にならなかった	30	3.0
3 存在は知っていたが、内容を見たことはない	115	11.5
4 知らなかった	806	80.6

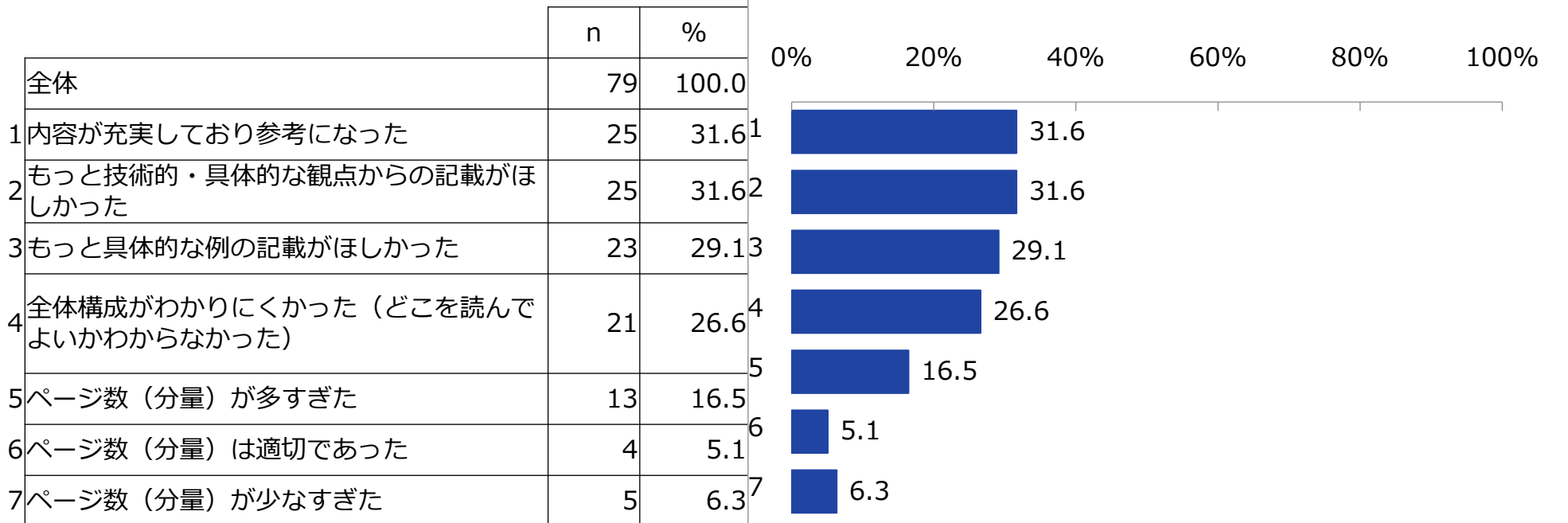


## □総務省ガイドライン(緑)評価

- 総務省「Wi-Fi利用者向け 簡易マニュアル」の内容を見たことがある人のうち、内容が充実しており参考になった（約32%）、もっと具体的な例の記載がほしかった（約32%）などの評価が多かった。

Q38. 「Wi-Fi利用者向け 簡易マニュアル」を見たときの所感・感想を聞かせてください。（いくつでも）

MA



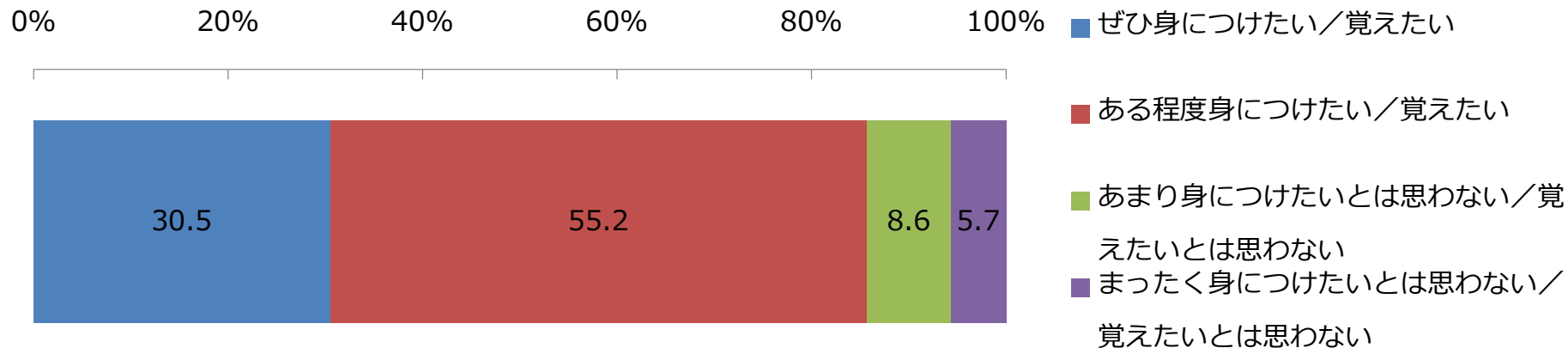
## □セキュリティ知識獲得意欲

- セキュリティの正しい知識を身につけたい／覚えたい人は約86%にのぼる。

Q39.無線LANの利用に際して、セキュリティについて正しい知識を持ったうえで、適切に利用することが求められますが、あなたは、セキュリティの正しい知識を身につけたい・覚えたいと思いますか。

SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 ぜひ身につけたい／覚えたい	305	30.5
2 ある程度身につけたい／覚えたい	552	55.2
3 あまり身につけたいとは思わない／覚えたいとは思わない	86	8.6
4 まったく身につけたいとは思わない／覚えたいとは思わない	57	5.7



## □国の取り組み

- 無線LANのセキュリティ確保のために国が進めるべき取り組みについて、最も多い意見は、メディア広告による周知啓発（約48%）。
- 次いで、インターネット事業者への規制強化（約40%）、通信機器製造事業者への規制強化（約34%）など。

Q40.無線LANのセキュリティ確保のために、国はどのような取組を進めるべきだと思いますか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	1000	100.0
1 文書（マニュアルやガイド本など）での周知啓発	301	30.1
2 動画講座での周知啓発	332	33.2
3 メディア広告による周知啓発	478	47.8
4 セキュリティに関する機器製造事業者への規制の強化	337	33.7
5 セキュリティに関するインターネット事業者への規制の強化	399	39.9
6 セキュリティに関する利用者への規制の強化	263	26.3
7 セキュリティ推奨となる製品の公表	271	27.1
8 セキュリティが弱い状態の機器の調査と注意喚起	291	29.1
9 特に何もする必要はない	105	10.5

